

独立行政法人日本芸術文化振興会 御中

国立劇場伝統芸能伝承者養成所
応募者確保のための調査

2024年3月26日

1. 調査概要 3
調査全体の概要	
調査項目	
2. 調査結果 6
属性	
伝統芸能の認知・興味関心	
伝統芸能との接点	
伝統芸能のイメージ・伝統芸能以外の芸術文化への興味関心	
伝統芸能鑑賞について	
職業選択について	
養成所の認知	
伝統芸能に関する情報・養成所に希望すること	
3. 今後に向けた提言 46
職業選択の促進に向けた環境整備や情報発信	
伝統芸能への興味関心の向上	

1. 調査概要

調査目的

国立劇場伝統芸能伝承者養成所における認知度向上と継続的な研修生応募者の獲得という課題に対応するために、研修生応募者確保のための今後の対応策を提案する。

調査方法

インターネット調査モニターへのインターネット調査

調査期間

2024年2月27日（火）～2月29日（木）

調査対象

全国15～24歳男女個人

- ・伝統芸能への興味・関心が高い人（関心層）
 - ➡伝統芸能に「興味・関心がある」と回答した対象者
- ・伝統芸能への興味・関心が高くない人（一般層）
 - ➡伝統芸能に「どちらかといえば興味・関心がある」「どちらかといえば興味・関心がない」「興味・関心がない」と回答した対象者

調査件数

- ・スクリーニング調査：2,704サンプル
- ・本調査：関心層200サンプル
一般層1,000サンプル

【本調査】回収割付の考え方

スクリーニング調査で対象条件にあてはまった回答者を、本調査では関心層・一般層に分け、それぞれ性別で割付を行った。関心層については、現在の養成所における研修生の男女比率と同程度の比率で回収するよう割付を行った。一般層については、さらに2区分の年齢に分け、モニターの比率と同程度の比率で回収するよう割付を行った。

【本調査】回収割付

調査対象		対象者数（人）	
関心層	男性	140	
	女性	60	
一般層	男性	15～19歳	90
		20～24歳	188
	女性	15～19歳	286
		20～24歳	436
合計			1,200

調査実施機関

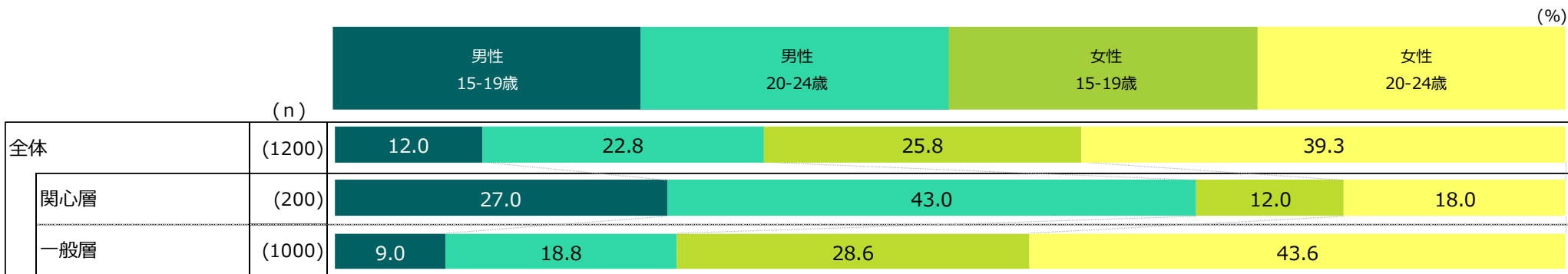
株式会社サーベイリサーチセンター

2. 調査結果

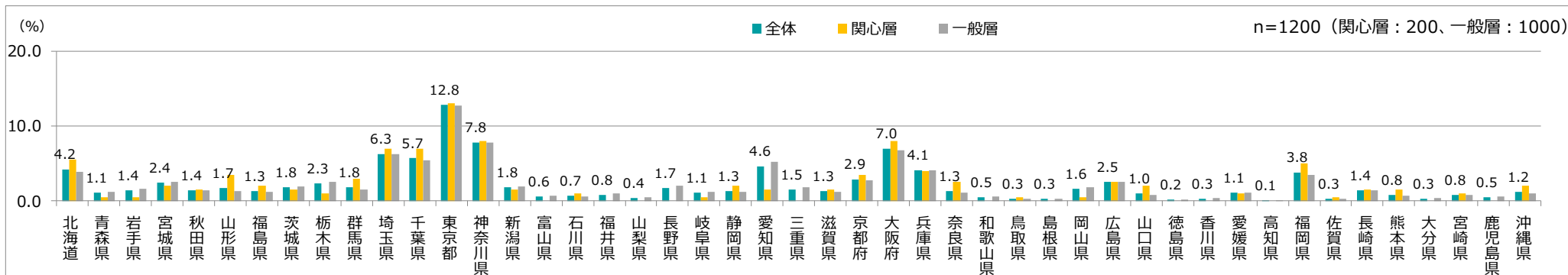
調査結果の留意点

- %の数値は、小数第2（または第3位）を四捨五入し、小数第1位（または第2位）までを表示しています。そのため、各回答の数値の合計が100%とならない場合があります。
- 基数となるべき実数はnとして掲載しています。
- 回答の基数（サンプルサイズ）が少ない場合や大きな差異が見られない場合は、解説で当該集計結果に触れていない場合があります。
- 単一回答（1つだけ選択）は帯グラフ、複数回答（2つ以上選択可能）は棒グラフで表しています。

性年代



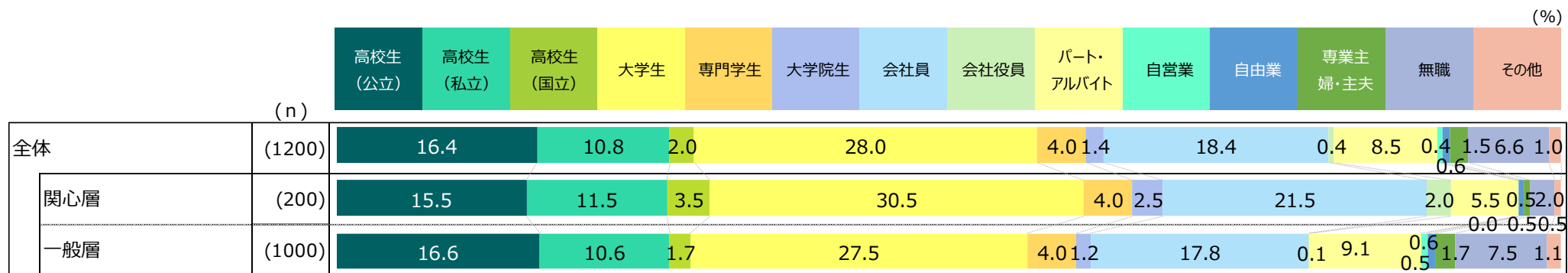
都道府県



- ◆ 関心層は、「大学生」が30.5%と最も高く、次いで「会社員」が21.5%となっている。
- ◆ 一般層は、「大学生」が27.5%と最も高く、次いで「会社員」が17.8%となっている。関心層と比較して「無職」が5.5ポイント高い。

SC1.あなたのご職業を選択してください。

(単一回答)

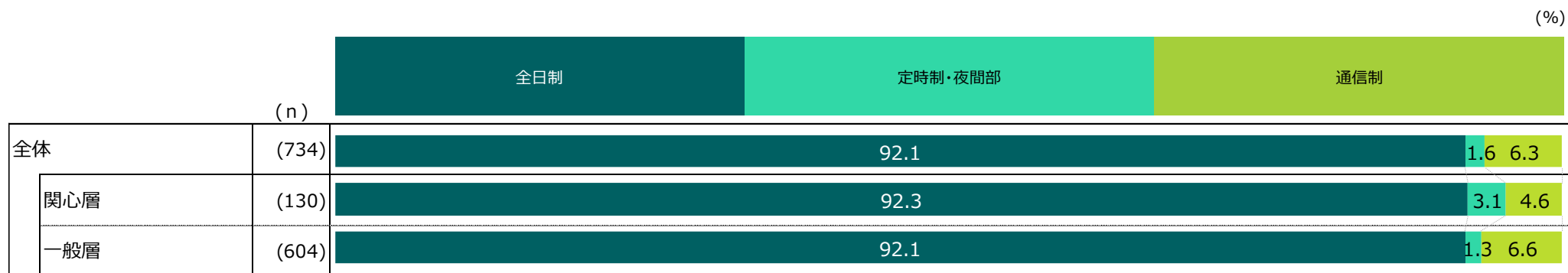


◆ 関心層・一般層ともに「全日制」が9割以上を占めている。いずれも「定時制・夜間部」は2%前後、「通信制」は5%前後となっている。

SC2.あなたが通っている学校の課程を選択してください。

※回答対象は高校生、大学生、専門学生のみ

(単一回答)

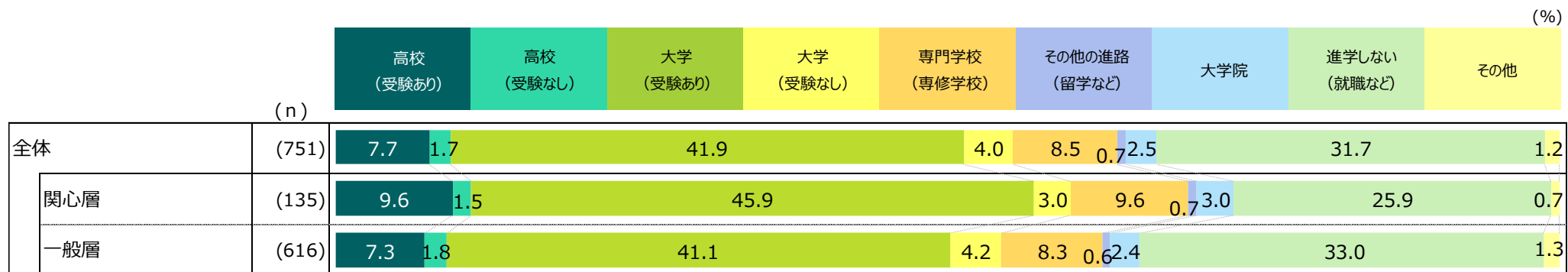


- ◆ 関心層・一般層ともに「大学（受験あり）」が4割以上と最も高く、次いで「進学しない（就職など）」が2～3割程度となっている。
- ◆ 一般層は関心層と比較して「進学しない（就職など）」が7.1ポイント高くなっている。

SC3.あなたの次の進学の予定について、あてはまるものを選択してください。

※回答対象は高校生、大学生、専門学生、大学院生のみ

(単一回答)

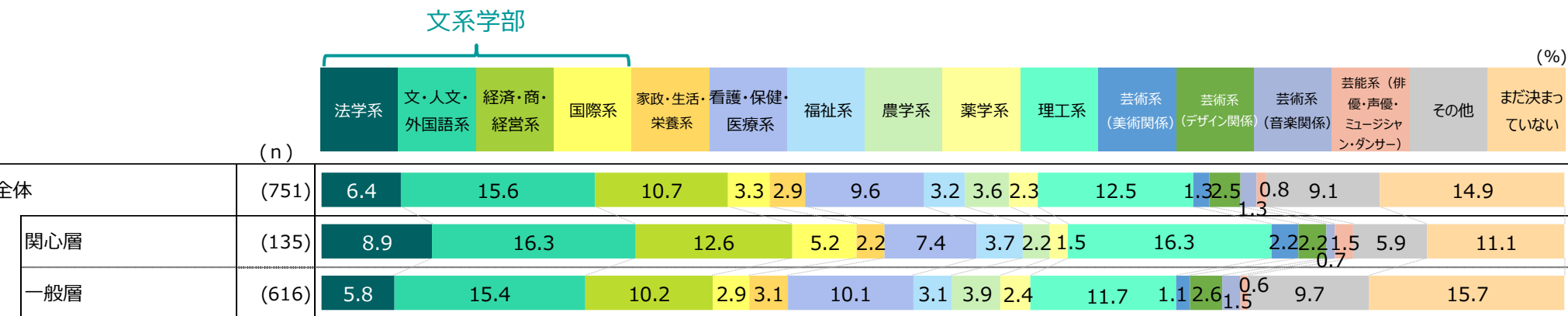


- ◆ 関心層は「文・人文・外国語系」と「理工系」がいずれも16.3%と最も高く、一般層は「まだ決まっていない」を除いて、「文・人文・外国語系」が15.4%と最も高い。
- ◆ 文系学部（法学系、文・人文・外国語系、経済・商・経営系、国際系）の割合は、関心層が43.0%、一般層が34.3%と関心層が8.7ポイント高い。

SC4.あなたの現在の高校・大学・専門学校・大学院等での専攻を選択してください。

※回答対象は高校生、大学生、専門学生、大学院生のみ

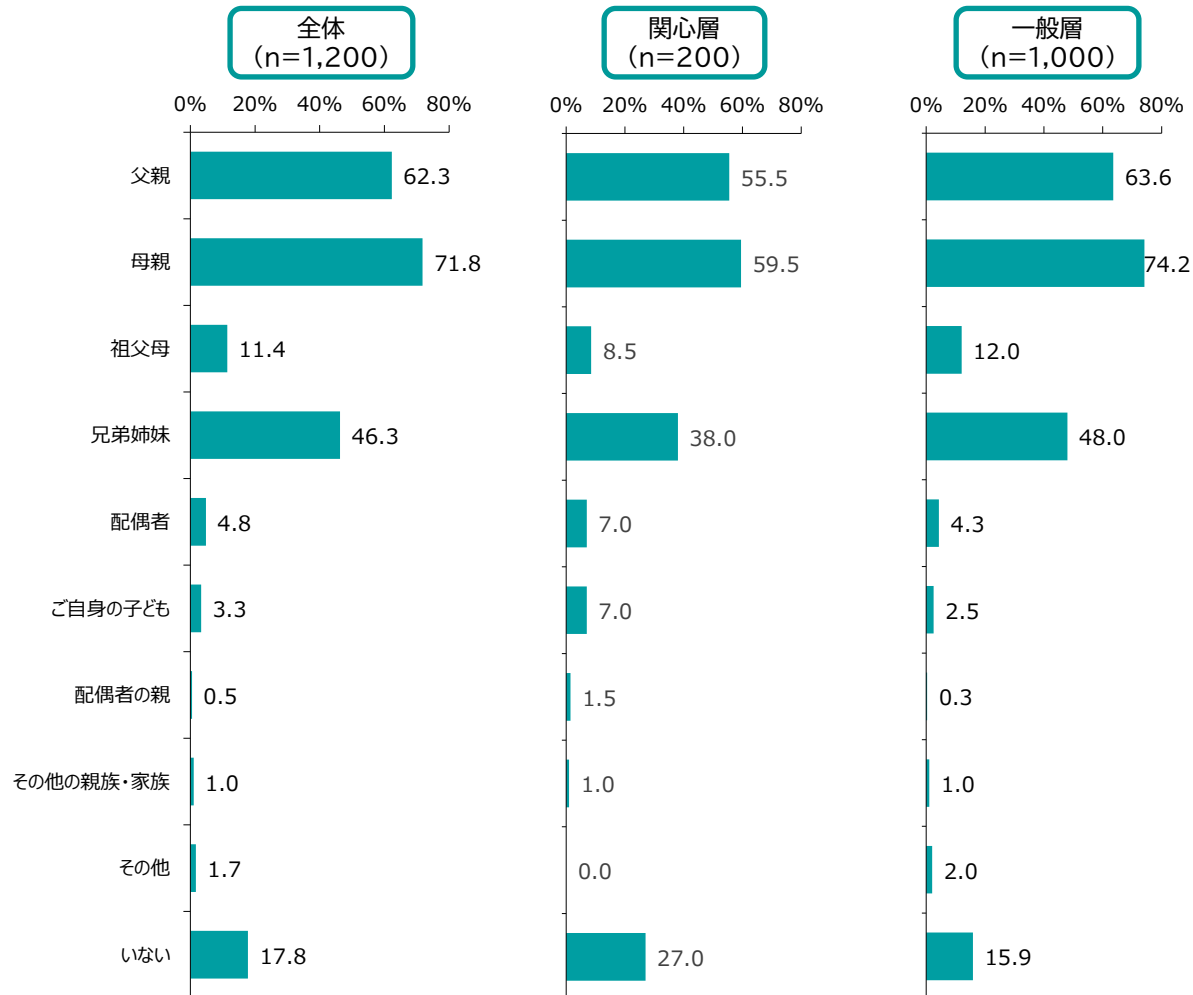
(単一回答)



◆ 関心層・一般層ともに「母親」が最も高く、次いで「父親」、「兄弟姉妹」と続き。関心度による差は特にみられない。

SC5.あなたと同居の家族を選択してください。

(複数回答)

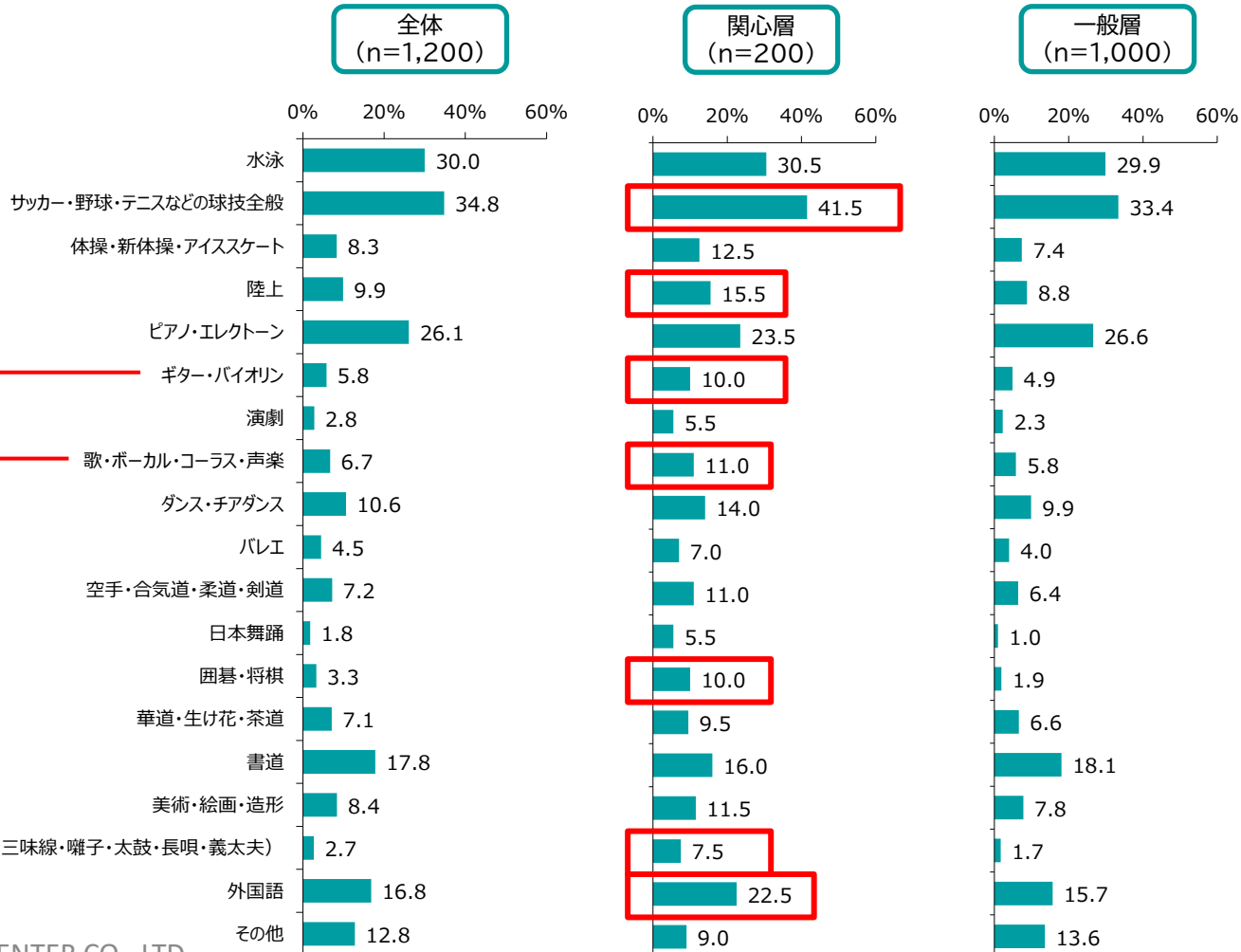


- ◆ 関心層・一般層ともに「サッカー・野球・テニスなどの球技全般」が3割以上と最も高く、次いで「水泳」が3割程度、「ピアノ・エレクトーン」が2割以上と続く。
- ◆ 関心層は「ピアノ・エレクトーン」「書道」「その他」を除いた16項目で一般層よりも割合が高くなっている。特に、「サッカー・野球・テニスなどの球技全般」「囲碁・将棋」が一般層と比較して8.1ポイント高く、「外国語」「陸上」も6ポイント以上高い。また、「ギター・バイオリン」「歌・ボーカル・コーラス・声楽」「日本音楽（三味線・囃子・太鼓・長唄・義太夫）」などの音楽系では、関心層が一般層と比較して5ポイント以上高くなっている。

SC6.あなたがこれまでに行ったことがある習い事・部活・サークルを選択してください。

(複数回答)

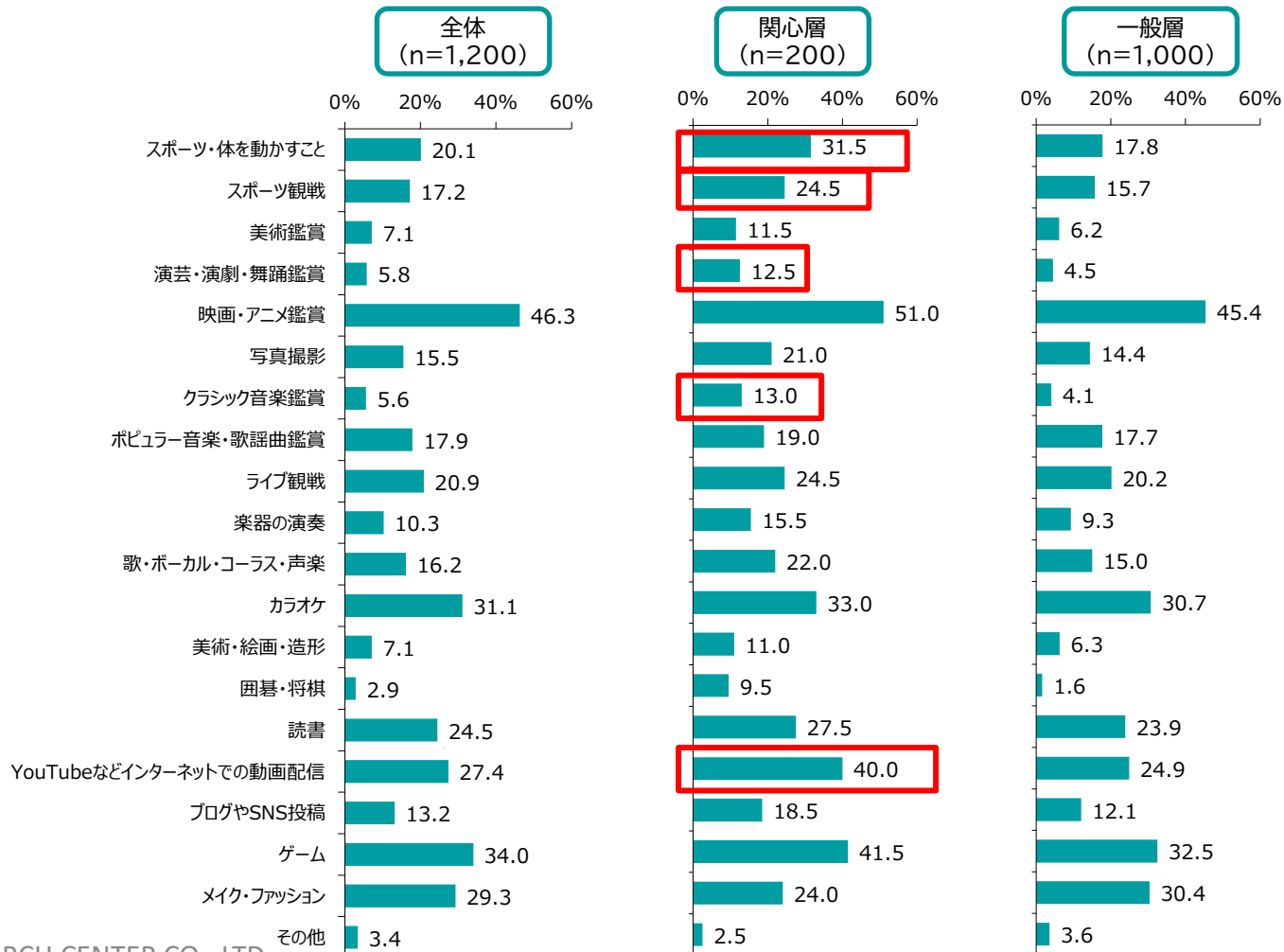
音楽系



- ◆ 関心層・一般層ともに「映画・アニメ鑑賞」が4割以上と最も高く、次いで「ゲーム」となっている。
- ◆ 関心層は、一般層と比較して「スポーツ・体を動かすこと」「YouTubeなどインターネットでの動画配信」が10ポイント以上高い。また、「スポーツ観戦」「演芸・演劇・舞踊鑑賞」「クラシック音楽鑑賞」などの観戦・鑑賞に関する趣味も8ポイント以上高くなっている。

SC7.あなたの趣味を選択してください。

(複数回答)



- ◆ 関心層・一般層ともに「YouTube」が最も高く、次いで「LINE」となっている。
- ◆ 「Instagram」「LINE」「YouTube」「TikTok」「X（旧Twitter）」などの主要なSNSについては、関心層に比べて一般層の方が高い。一方で、上記以外のSNSについては、一般層に比べて関心層の方が高い。特に「LINE LIVE」は関心層が10ポイント以上高くなっている。関心層の方が一般層よりも幅広いSNSを利用している傾向にある。

SC8.あなたが利用しているSNSは何ですか。

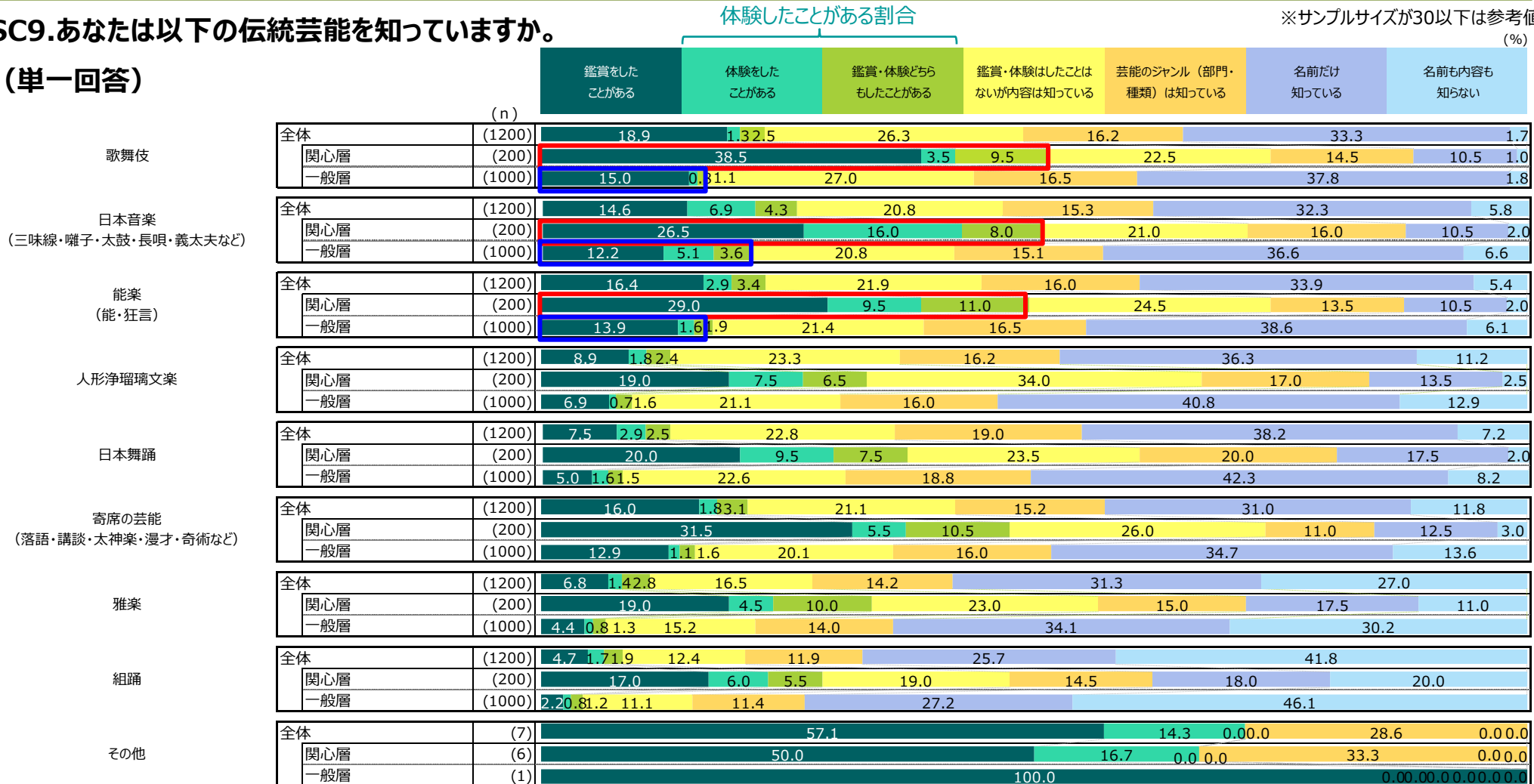
(複数回答)



- ◆ 全体で見ると、「雅楽」「組踊」「その他」を除いた全ての分野において9割前後が名前を知っている。（「鑑賞したことがある」～「名前だけ知っている」）
- ◆ 関心層では、「歌舞伎」「日本音楽（三味線・囃子・太鼓・長唄・義太夫など）」「能楽（能・狂言）」において鑑賞または体験したことがある割合がそれぞれ5割程度となっている一方で、一般層では16～20%程度となっている。
- ◆ 体験をしたことがある割合（「体験をしたことがある」と「鑑賞・体験どちらもあったことがある」を合わせた割合）は、関心層ではその他を除くどの分野においても10%以上である一方で、一般層では10%未満となっている。

SC9.あなたは以下の伝統芸能を知っていますか。

（単一回答）

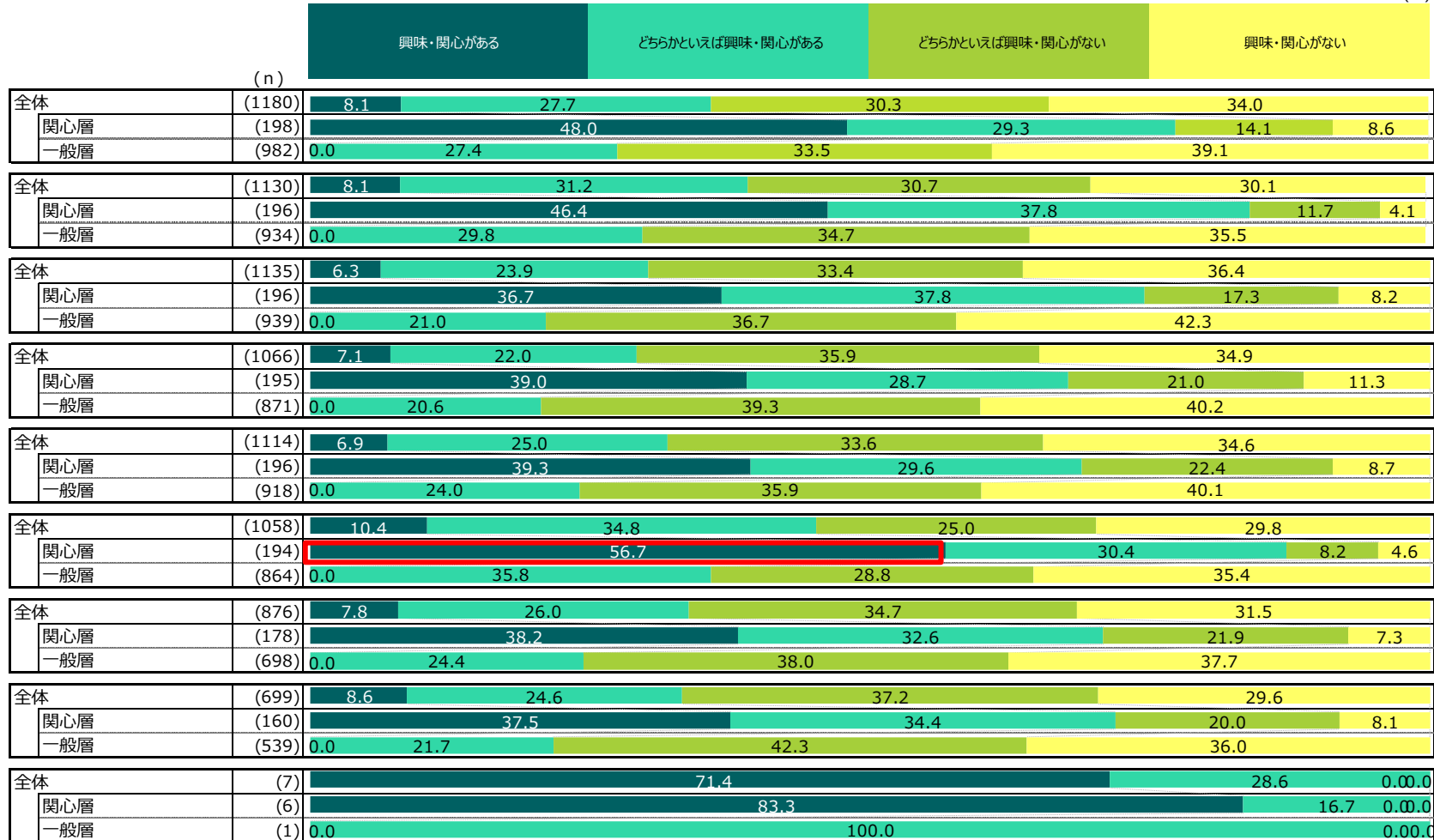


- ◆全体でみると、「興味・関心がある」と回答した割合は、「その他」を除き、「寄席の芸能（落語・講談・太神楽・漫才・奇術など）」が10.4%と最も高く、次いで「組踊」が8.6%となっている。また、「興味・関心がある」と「どちらかといえば興味・関心がある」を合わせた割合は、「寄席の芸能（落語・講談・太神楽・漫才・奇術など）」が45.2%と最も高くなっているものの、いずれの分野も5割未満となっている。
- ◆関心層の中では、「寄席の芸能（落語・講談・太神楽・漫才・奇術など）」に「興味・関心がある」と回答した割合が半数以上となっている。

※サンプルサイズが30以下は参考値 (%)

SC10. あなたは以下の伝統芸能に興味・関心はありますか。

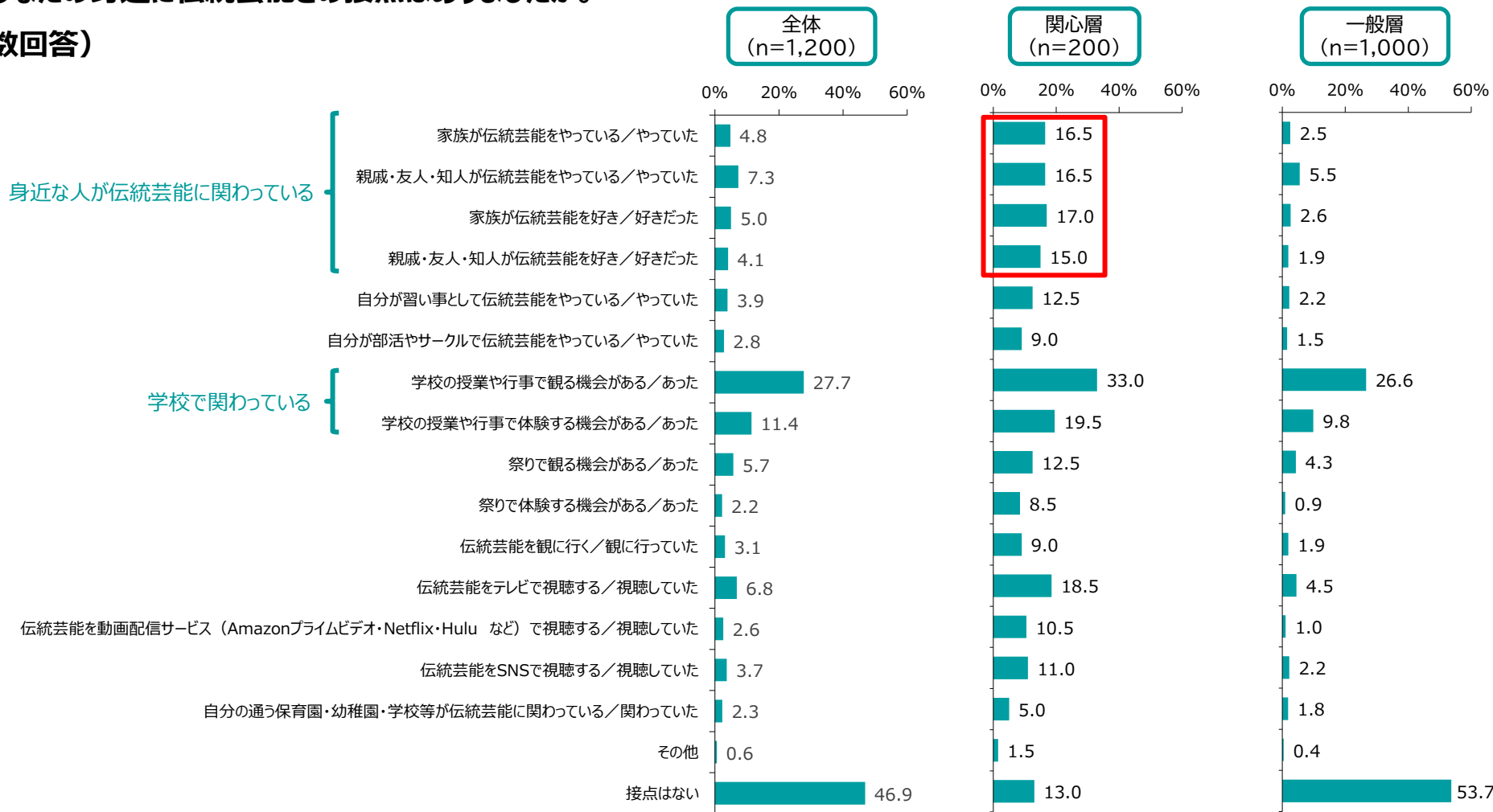
(単一回答)



- ◆ 関心層・一般層ともに、「接点がある」と回答した人は、学校の授業や行事で「観る機会がある／あった」「体験する機会がある／あった」が最も高くなっており、教育の一環として、伝統芸能に触れていることが窺える。
- ◆ 関心層は、家族や親戚・友人・知人が伝統芸能を「やっている／やっていた」または「好き／好きだった」割合がそれぞれ15%以上となっており、一般層に比べて身近に伝統芸能と関わりがある人がいる（いた）ことが窺える。また、「伝統芸能をテレビで視聴する／視聴していた」割合も一般層に比べて14ポイント高い。
- ◆ 一般層は、「接点はない」が半数以上を占めており、教育以外での伝統芸能との関わりがない人が多い。

Q1.あなたの身近に伝統芸能との接点がありましたか。

(複数回答)

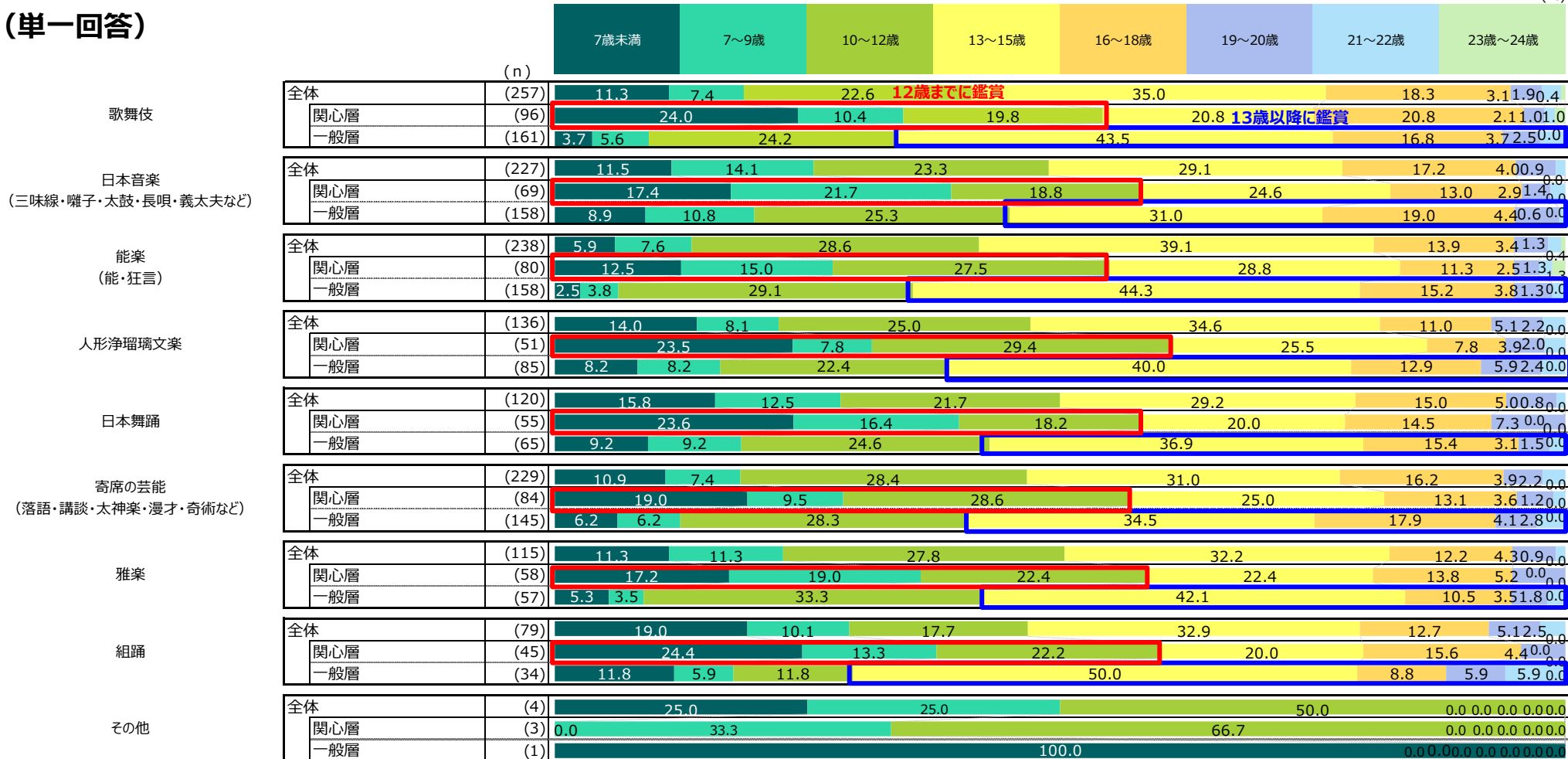


- ◆全体で見ると、「その他」を除く全ての分野において、ボリュームゾーンは「13～15歳」となっている。
- ◆いずれの分野においても、関心層では12歳までに鑑賞したことがある割合が半数以上となっている一方で、一般層では13歳以上で初めて鑑賞している割合が半数以上となっており、関心層の方が初めて鑑賞した年齢が低い傾向にある。

Q2. (鑑賞したことがある方) あなたが以下の伝統芸能を初めて鑑賞したのはいつですか。

※各分野において、鑑賞したことがある対象者のみ回答
 ※サンプルサイズが30以下は参考値 (%)

(単一回答)

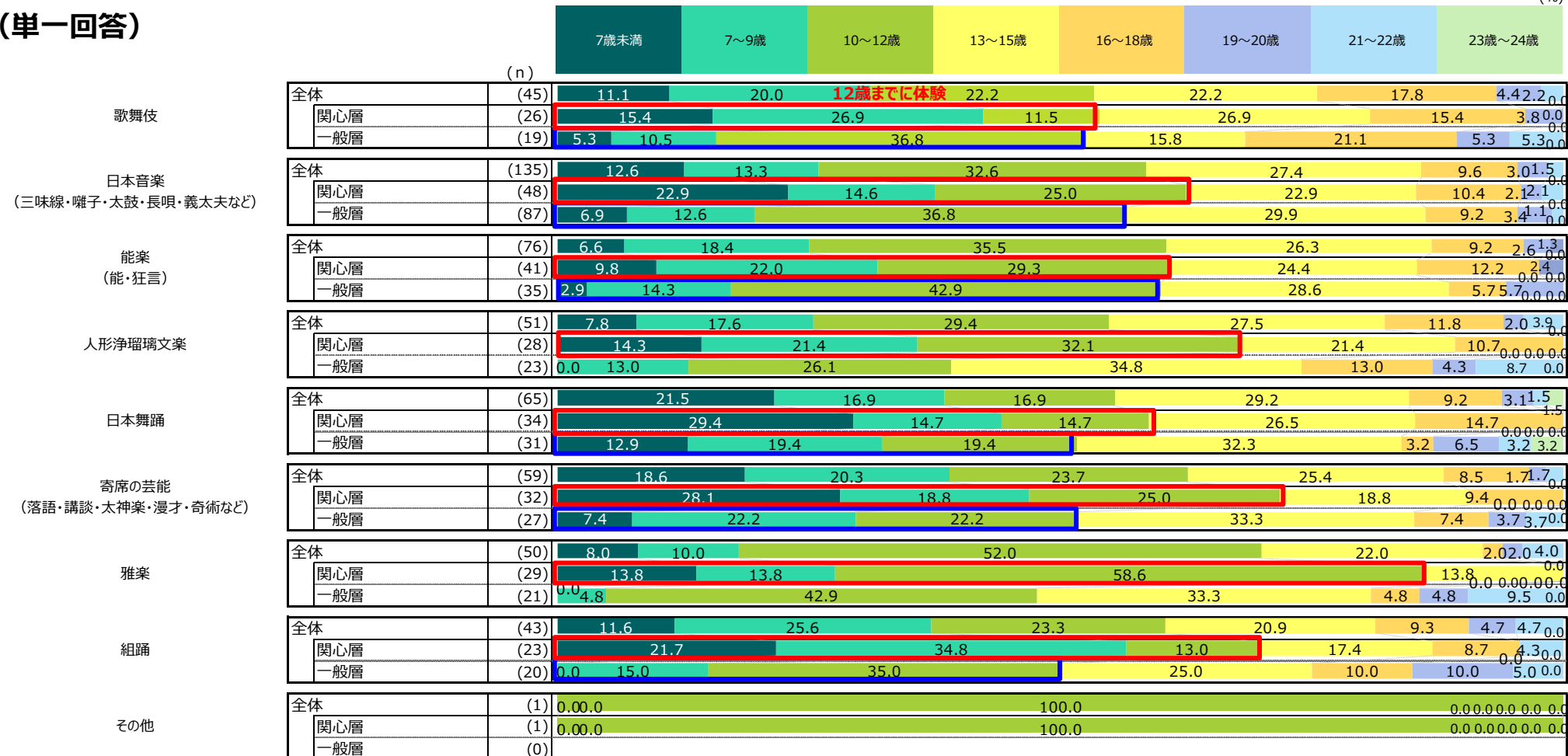


- ◆ 関心層では、いずれの分野においても12歳までに体験したことがある割合が半数以上となっている。
- ◆ 一般層では、いずれの分野においても関心層の割合を下回っているものの、人形浄瑠璃文楽と雅楽を除き12歳までに体験したことがある割合が半数以上となっている。

Q3. あなたが以下の伝統芸能を初めて体験したのはいつですか。

※各分野において、体験したことがある対象者のみ回答
 ※サンプルサイズが30以下は参考値 (%)

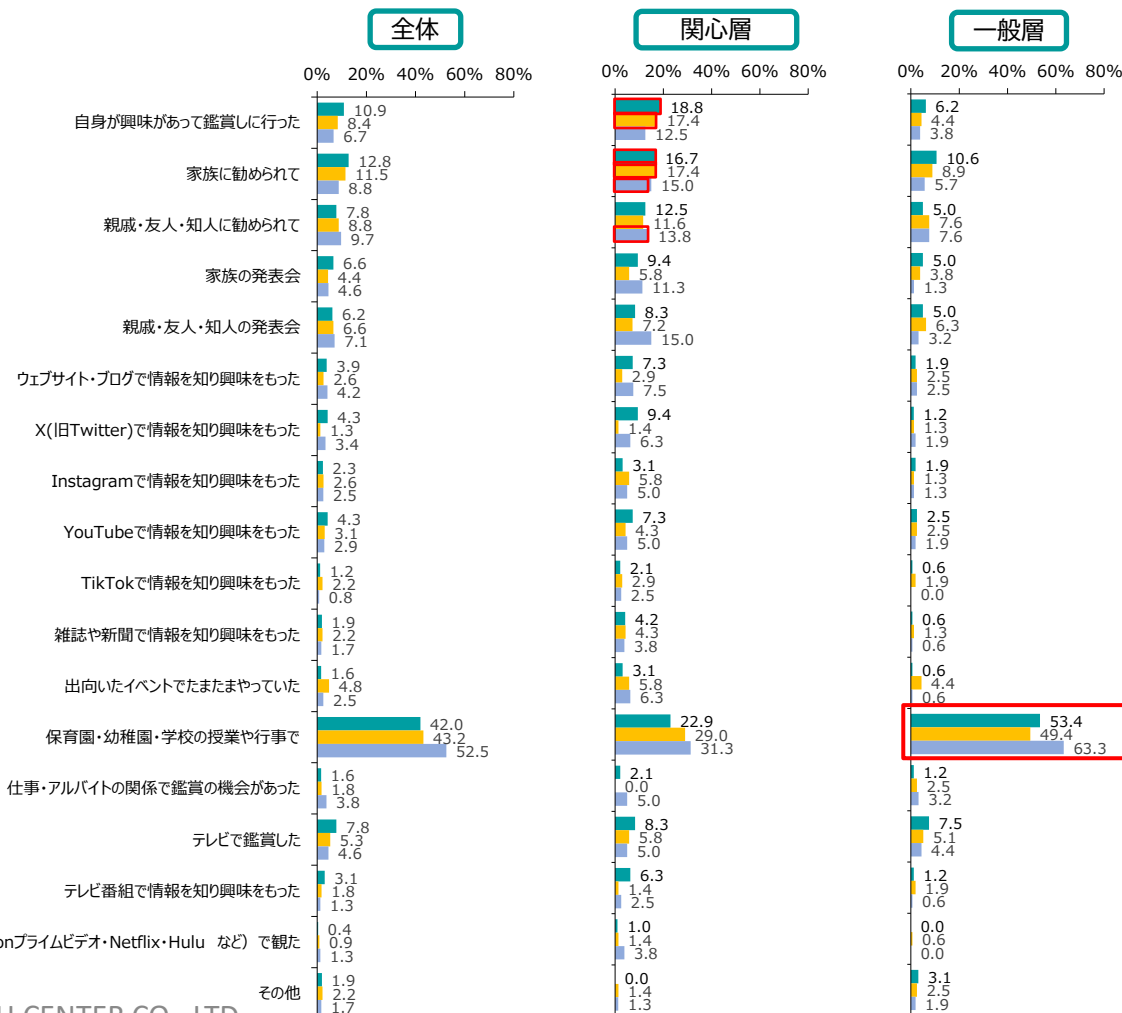
(単一回答)



- ◆ 関心層では、いずれも「保育園・幼稚園・学校の授業や行事で」が2~3割程度と最も高くなっている。歌舞伎と日本音楽（三味線・囃子・太鼓・長唄・義太夫など）においては、「自身が興味があって鑑賞しに行った」や「家族に勧められて」が次いで高くなっており、自身や家族の興味・関心がきっかけとなっている。能楽（能・狂言）においては、「家族に勧められて」「親戚・友人・知人の発表会」が次いで高くなっており、周囲の人の興味・関心や関わりがきっかけとなっている。また、歌舞伎については、他の分野に比べてSNSやテレビで触れる機会があったことも窺える。
- ◆ 一般層では、いずれの分野においても「保育園・幼稚園・学校の授業や行事で」が最も高くなっている。また、「自身が興味があって鑑賞しに行った」「家族に勧められて」は関心層と比較して5ポイント以上低くなっている。

Q4. あなたが以下の伝統芸能を初めて鑑賞したきっかけは何ですか。（歌舞伎・日本音楽・能楽）

（複数回答）



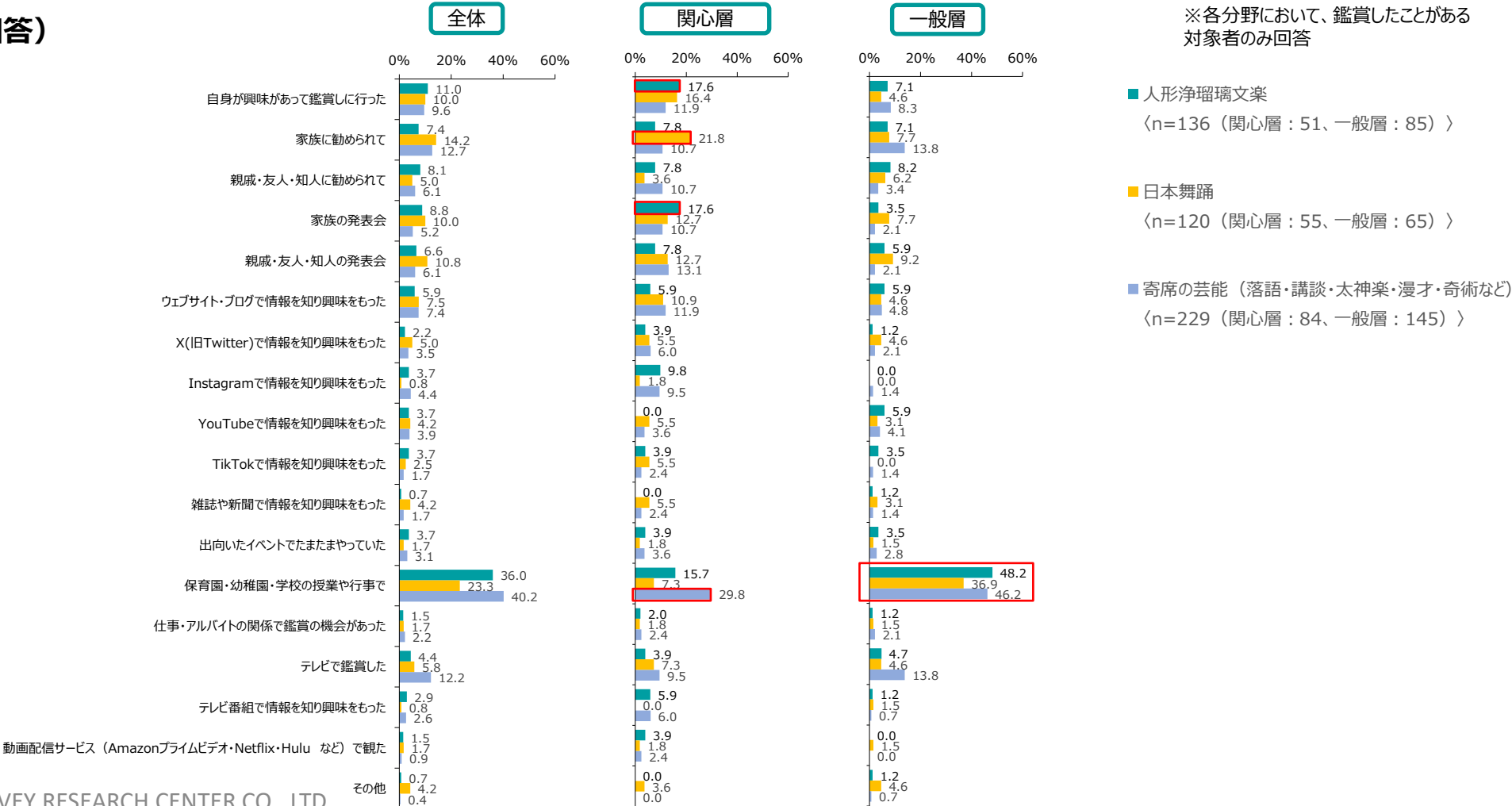
※各分野において、鑑賞したことがある対象者のみ回答

- 歌舞伎
〈n=257 (関心層：96、一般層：161)〉
- 日本音楽（三味線・囃子・太鼓・長唄・義太夫など）
〈n=227 (関心層：69、一般層：158)〉
- 能楽（能・狂言）
〈n=238 (関心層：80、一般層：158)〉

- ◆ 関心層では、人形浄瑠璃文楽においては「自身が興味があって鑑賞しに行った」「家族の発表会」が最も高くなっており、日本舞踊は「家族に勧められて」が最も高い。一方で、寄席の芸能（落語・講談・太神楽・漫才・奇術など）においては「保育園・幼稚園・学校の授業や行事で」が3割程度と最も高く、自身や家族がきっかけとなった割合は10%程度となっている。
- ◆ 一般層では、「保育園・幼稚園・学校の授業や行事で」が3割以上と最も高くなっている。人形浄瑠璃文楽と日本舞踊においては、「自身が興味があって鑑賞しに行った」が、寄席の芸能（落語・講談・太神楽・漫才・奇術など）においては「親戚・友人・知人の発表会」が関心層と比較して10ポイント以上低い。

Q4. あなたが以下の伝統芸能を初めて鑑賞したきっかけは何ですか。（人形浄瑠璃文楽・日本舞踊・寄席の芸能）

（複数回答）



- ◆ 関心層では、雅楽においては「保育園・幼稚園・学校の授業や行事で」が27.6%と最も高く、組踊においては「自身が興味があって鑑賞しに行った」が17.8%で最も高い。
- ◆ 一般層では、いずれも「保育園・幼稚園・学校の授業や行事で」が最も高く、特に雅楽においては4割以上を占めている。

Q4. あなたが以下の伝統芸能を初めて鑑賞したきっかけは何ですか。(雅楽・組踊・その他)

(複数回答)



※各分野において、鑑賞したことがある対象者のみ回答

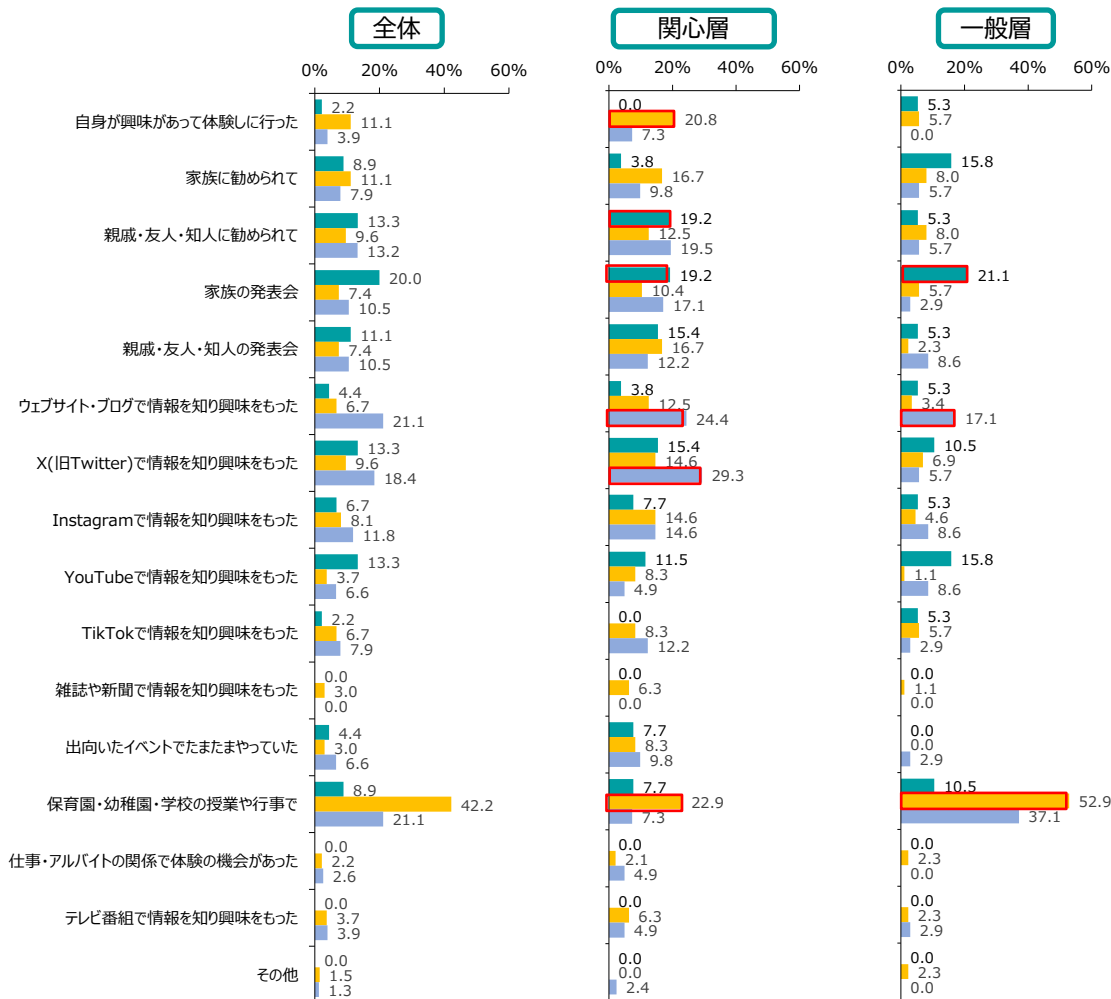
※サンプルサイズが30以下は参考値

- 雅楽
〈n=115 (関心層: 58、一般層: 57) 〉
- 組踊
〈n=79 (関心層: 45、一般層: 34) 〉
- その他
〈n=4 (関心層: 3、一般層: 1) 〉

- ◆ 関心層では、歌舞伎については「親戚・友人・知人に勧められて」「家族の発表会」が2割程度と高く、日本音楽（三味線・囃子・太鼓・長唄・義太夫など）については「保育園・幼稚園・学校の授業や行事で」「自身が興味があって体験しに行った」が2割以上と高くなっている。能楽については、「X(旧Twitter)で情報を知り興味をもった」「ウェブサイト・ブログで情報を知り興味をもった」が2～3割程度となっており、インターネットやSNSの情報がきっかけとなっている割合が高い。
- ◆ 一般層では、歌舞伎については関心層と同様に「家族の発表会」が2割以上と高くなっている。日本音楽（三味線・囃子・太鼓・長唄・義太夫など）については「保育園・幼稚園・学校の授業や行事で」が半数以上を占めており、関心層と比較して30ポイント高い。能楽については、「ウェブサイト・ブログで情報を知り興味をもった」が17.1%となっており、関心層と同様にインターネットの情報がきっかけとなっている割合が高い。

Q5. あなたが以下の伝統芸能を初めて体験したきっかけは何ですか。（歌舞伎・日本音楽・能楽）

（複数回答）



※各分野において、体験したことがある対象者のみ回答

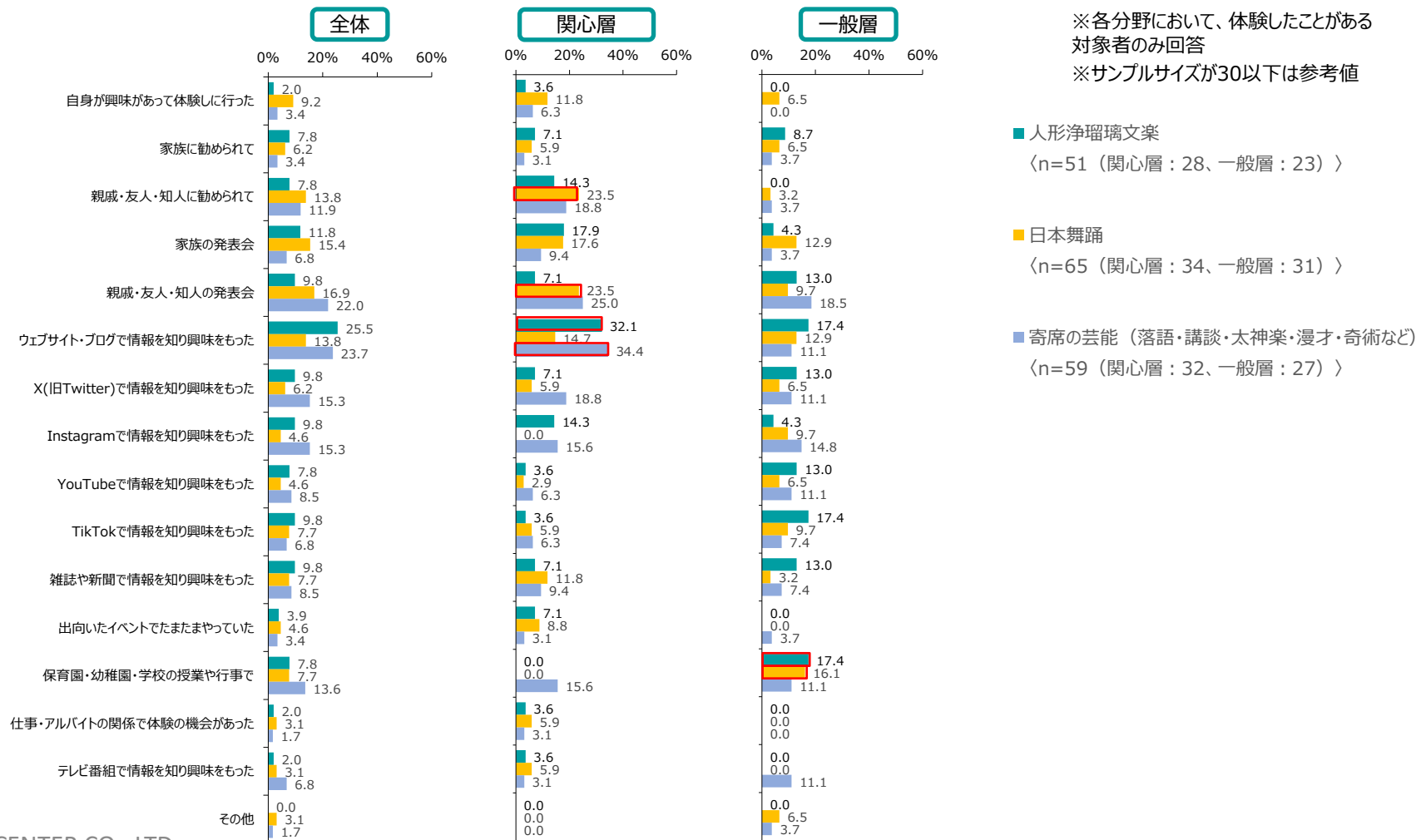
※サンプルサイズが30以下は参考値

- 歌舞伎 (n=45 (関心層: 26、一般層: 19))
- 日本音楽 (三味線・囃子・太鼓・長唄・義太夫など) (n=135 (関心層: 48、一般層: 87))
- 能楽 (能・狂言) (n=76 (関心層: 41、一般層: 35))

- ◆ 関心層では、人形浄瑠璃文楽と寄席の芸能（落語・講談・太神楽・漫才・奇術など）については「ウェブサイト・ブログで情報を知り興味をもった」が3割以上と最も高くなっており、インターネットからの情報がきっかけとなっている割合が高い。一方で、日本舞踊については「親戚・友人・知人に勧められて」「親戚・友人・知人の発表会」が2割以上と最も高く、親戚・友人・知人がきっかけとなっている。
- ◆ 一般層では、人形浄瑠璃文楽と日本舞踊において「保育園・幼稚園・学校の授業や行事で」が15%以上となっており、関心層と比較して15ポイント以上高くなっている。また、寄席の芸能（落語・講談・太神楽・漫才・奇術など）については、「ウェブサイト・ブログで情報を知り興味をもった」が関心層と比較して20ポイント以上低くなっている。

Q5. あなたが以下の伝統芸能を初めて体験したきっかけは何ですか。（人形浄瑠璃文楽・日本舞踊・寄席の芸能）

（複数回答）

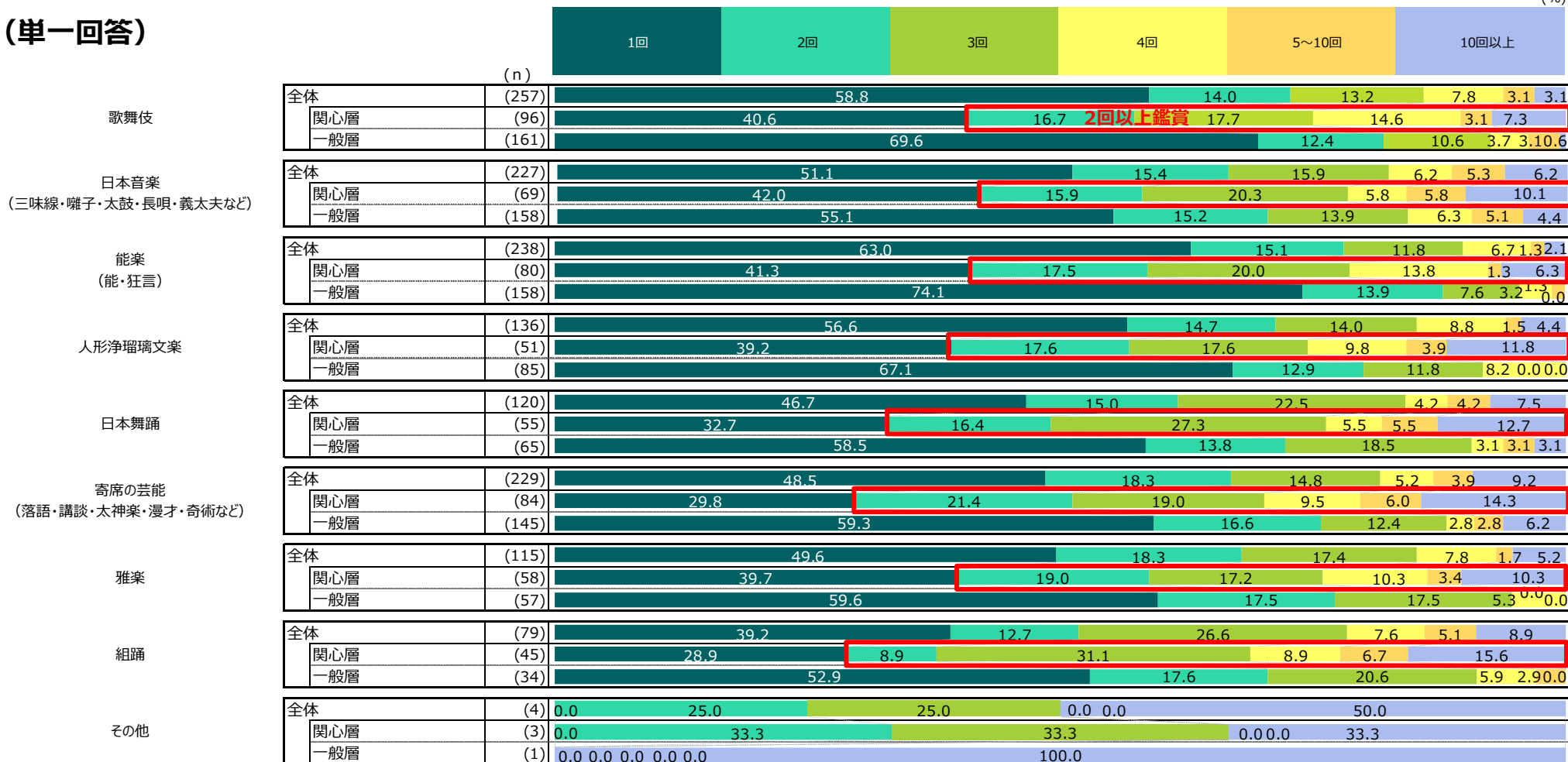


- ◆ 関心層では、「2回」以上と回答している割合が半数以上となっており、このうち、日本舞踊と組踊については「3回」以上の鑑賞経験がある割合も半数以上となっている。また、寄席の芸能（落語・講談・太神楽・漫才・奇術など）と組踊については、「5～10回」以上鑑賞経験がある割合が2割以上となっている。
- ◆ 一般層では、その他を除く全ての分野において「1回」が半数以上となっている。

Q6. あなたは以下の伝統芸能をこれまでに何回、鑑賞を行いましたか。

※各分野において、鑑賞したことがある対象者のみ回答
※サンプルサイズが30以下は参考値 (%)

(単一回答)

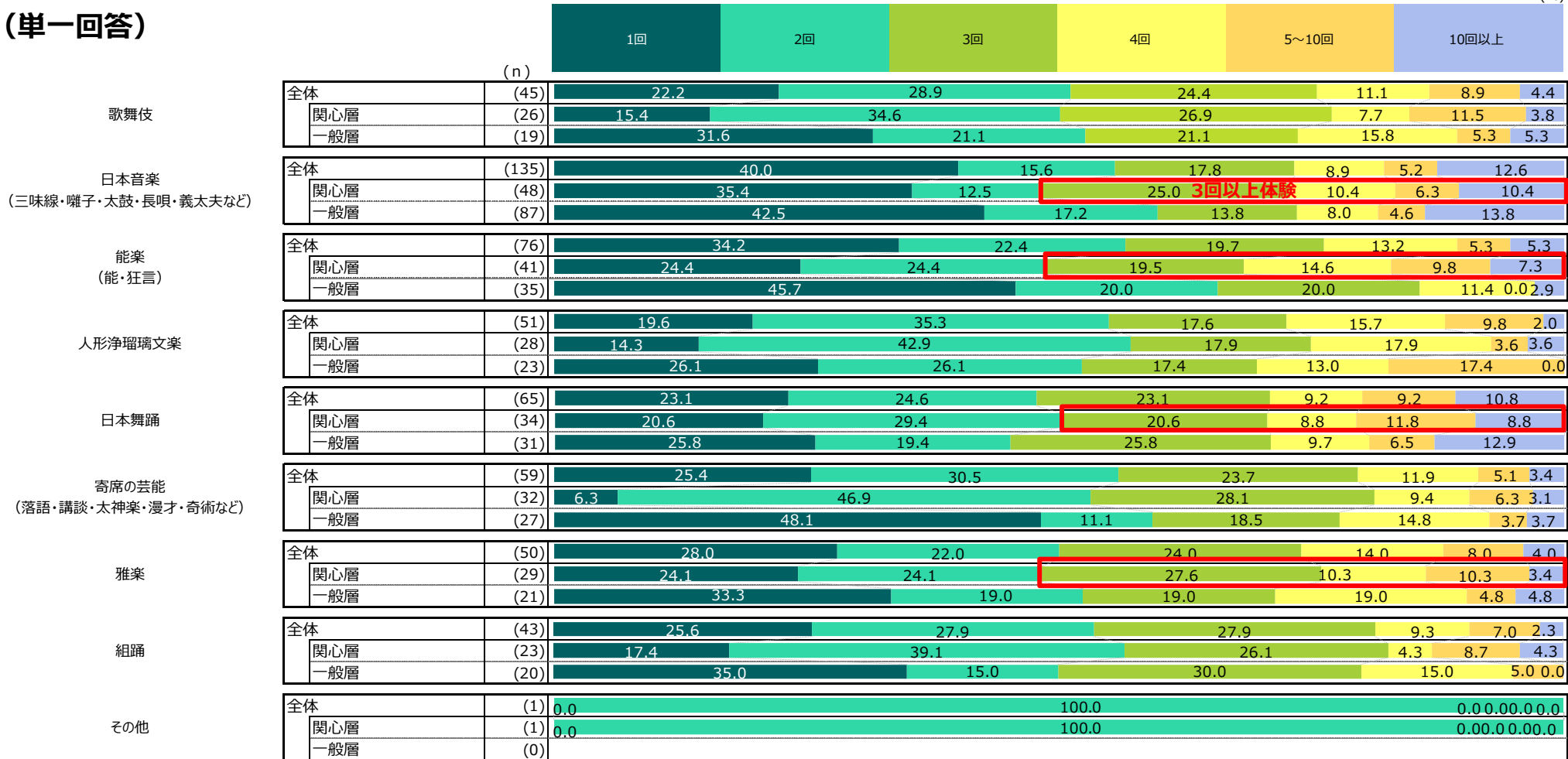


- ◆ 関心層では、日本音楽（三味線・囃子・太鼓・長唄・義太夫など）、能楽（能・狂言）、日本舞踊、雅楽において「3回」以上体験したことがある割合が半数以上となっている。
- ◆ 一般層では、その他を除く全ての分野において「1回」が25%以上となっている。寄席の芸能（落語・講談・太神楽・漫才・奇術など）においては、一般層では「1回」が半数近くと最も高くなっている一方で、関心層では「2回」が半数近くとなっている。

Q7. あなたは以下の伝統芸能をこれまでに何回、体験を行いましたか。

※各分野において、体験したことがある対象者のみ回答
 ※サンプルサイズが30以下は参考値 (%)

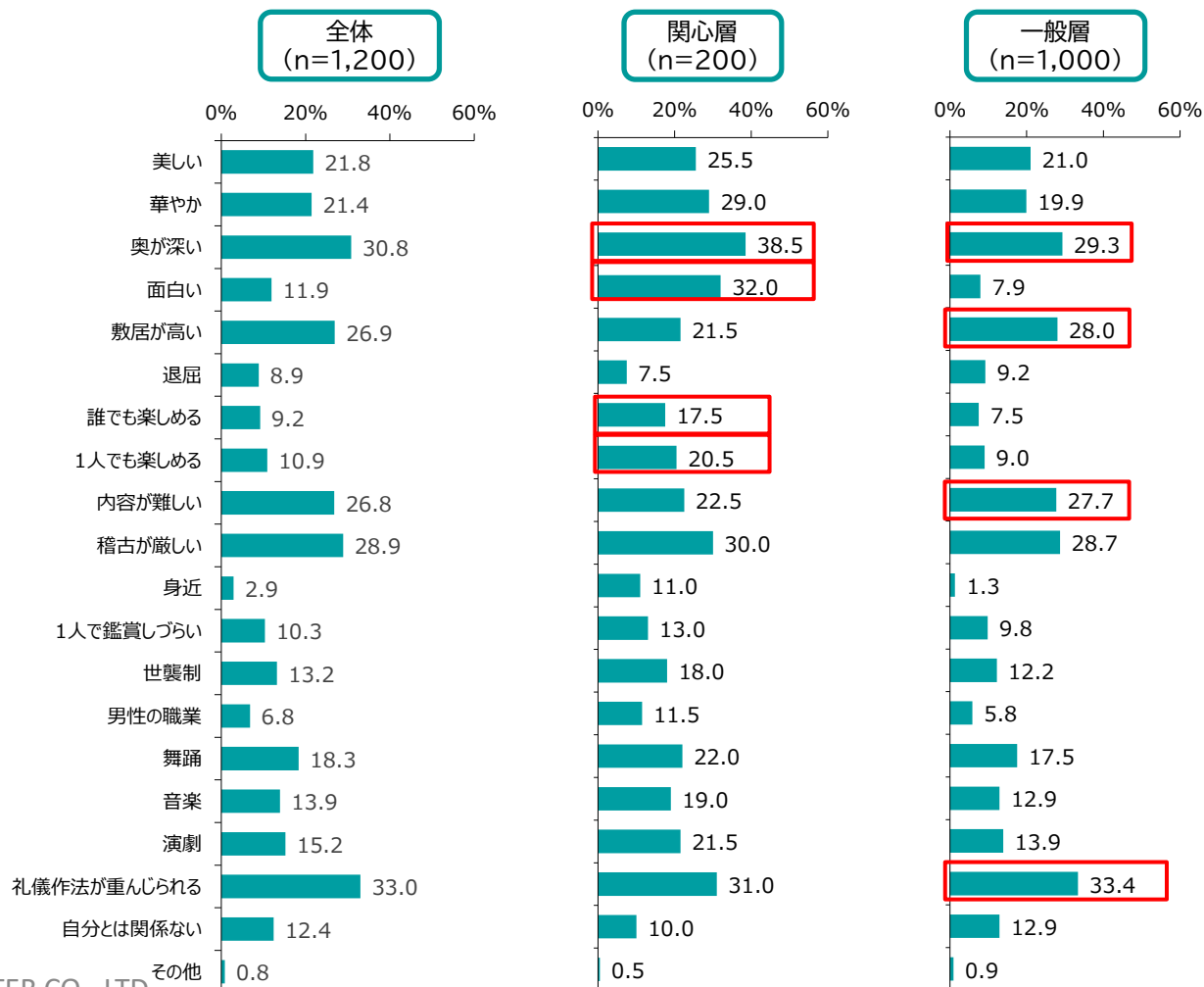
(単一回答)



- ◆ 関心層は「奥が深い」が38.5%と最も高く、次いで「面白い」が32.0%となっているのに対し、一般層は「礼儀作法が重んじられる」が33.4%、次いで「奥が深い」が29.3%となっている。
- ◆ 関心層は一般層と比較して、「面白い」が20ポイント以上高く、「誰でも楽しめる」「1人でも楽しめる」も10ポイント以上高くなっており、面白い・楽しいといったポジティブなイメージが強い傾向にある。
- ◆ 一般層は関心層と比較して、「敷居が高い」「内容が難しい」が5ポイント以上高く、伝統芸能に対して苦手意識を感じていることが窺える。

Q8.あなたご自身の、伝統芸能に対するイメージをお答えください。

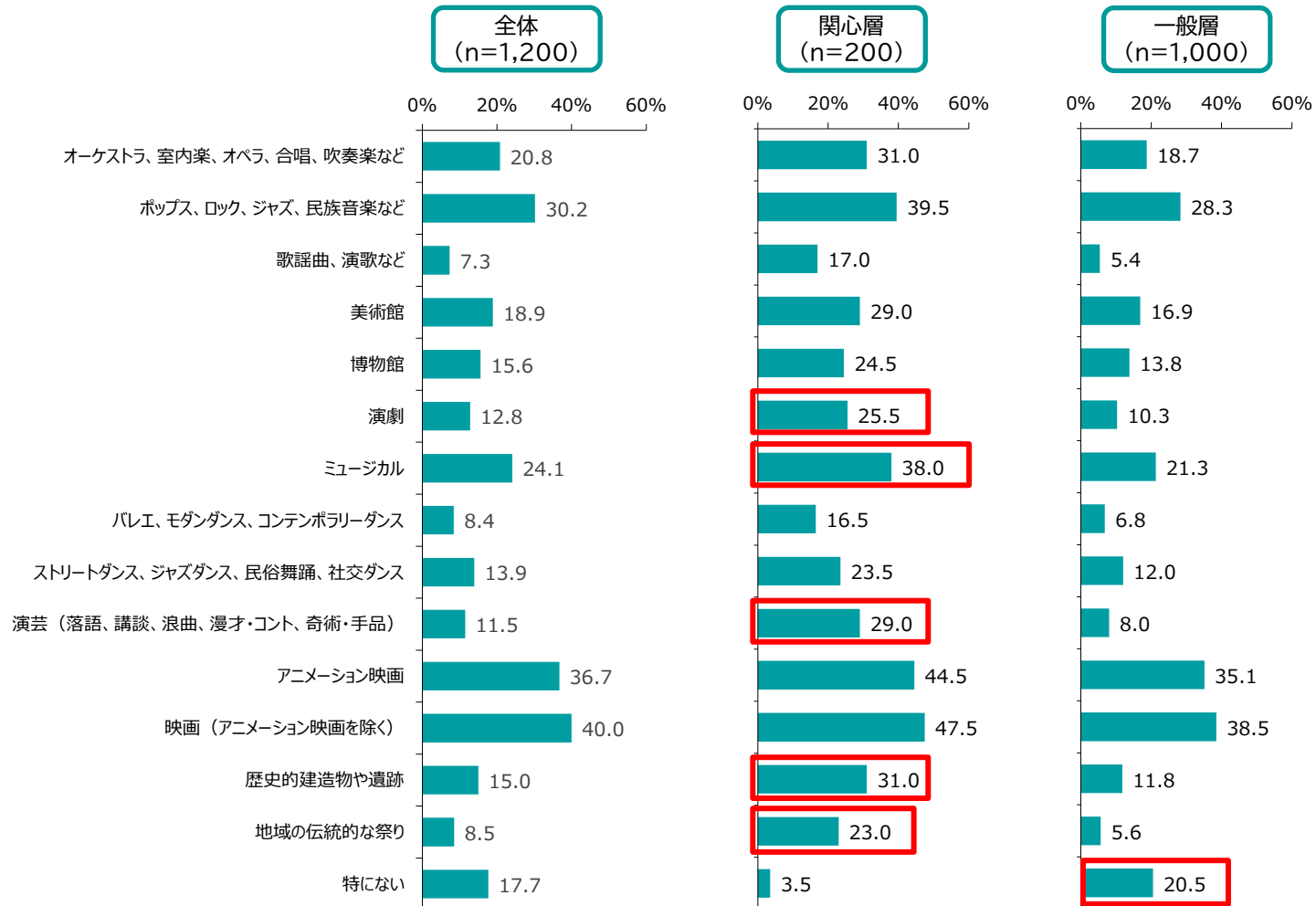
(複数回答)



- ◆ 関心層・一般層ともに「映画（アニメーション映画を除く）」が最も高く、次いで「アニメーション映画」、「ポップス、ロック、ジャズ、民族音楽など」と続いており、同様の傾向となっている。
- ◆ 関心層は一般層と比較して、「演芸（落語、講談、浪曲、漫才・コント、奇術・手品）」が20ポイント以上高い。また、「歴史的建造物や遺跡」「地域の伝統的な祭り」「ミュージカル」「演劇」などの歴史や伝統に関するものや舞台芸術についても15ポイント以上高い。
- ◆ 一般層は、関心層と比較して、「特にない」が17ポイント高く、関心層の方が伝統芸能以外の芸術文化への興味・関心も高いことが窺える。

Q9.あなたが次のうち、興味・関心があるものを選択してください。

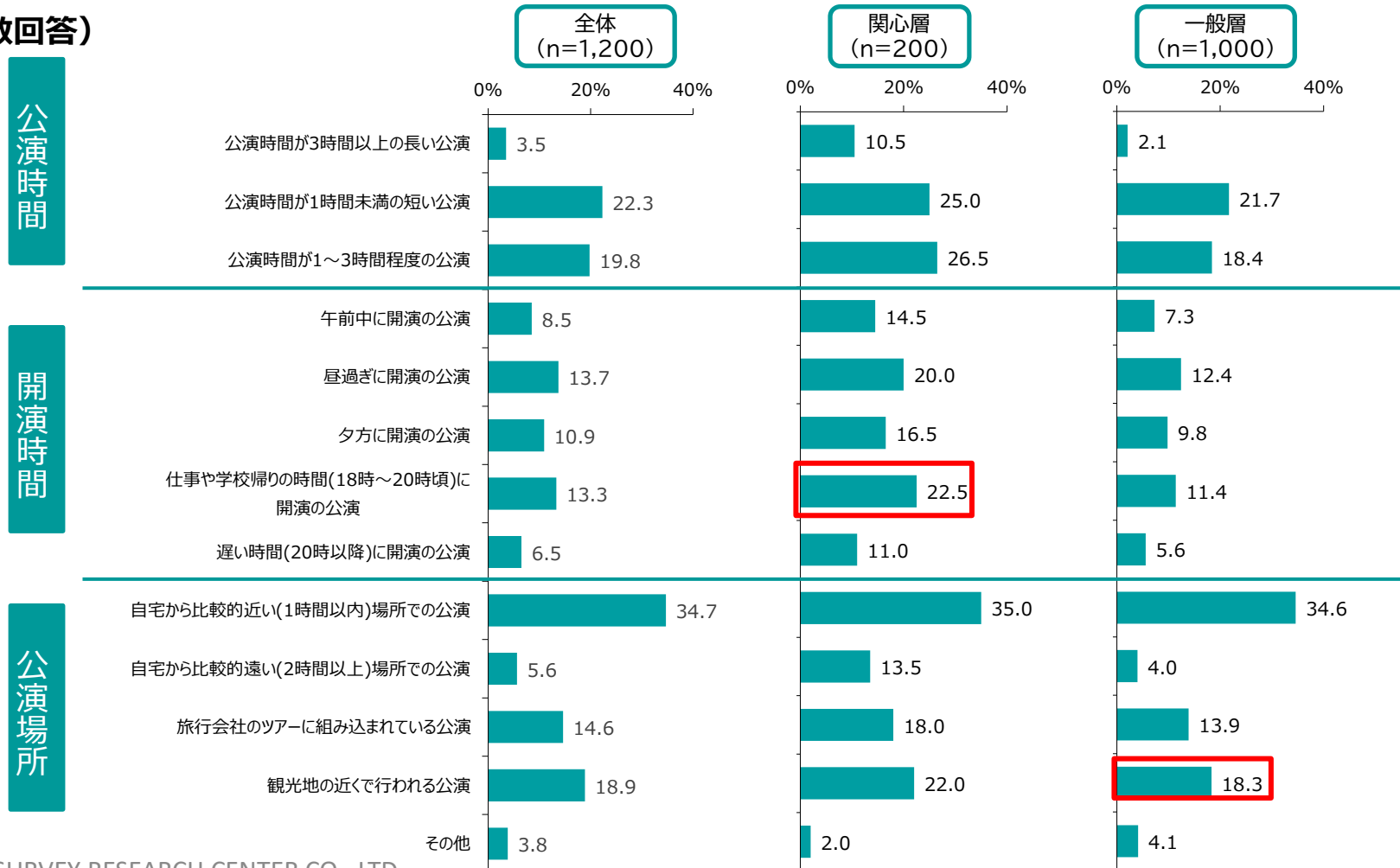
(複数回答)



- ◆ 関心層・一般層ともに「自宅から比較的近い(1時間以内)場所での公演」が3割以上と最も高く、次いで関心層では「公演時間が1～3時間程度の公演」が26.5%、一般層では「公演時間が1時間未満の短い公演」が21.7%と高い。関心層の方が長い公演を望む傾向にある。
- ◆ 関心層は一般層と比較して、「仕事や学校帰りの時間(18時～20時頃)に開演の公演」が10ポイント以上高く、仕事や学校帰りの鑑賞需要がある。
- ◆ 一般層は「自宅から比較的遠い(2時間以上)場所での公演」は4.0%と低いものの、「観光地の近くで行われる公演」については2割近くとなっており、観光のついででの鑑賞需要は少なからずあることが窺える。

Q10.あなたは伝統芸能の公演について、どのような公演であれば鑑賞したいと思う人が増えると思いますか。

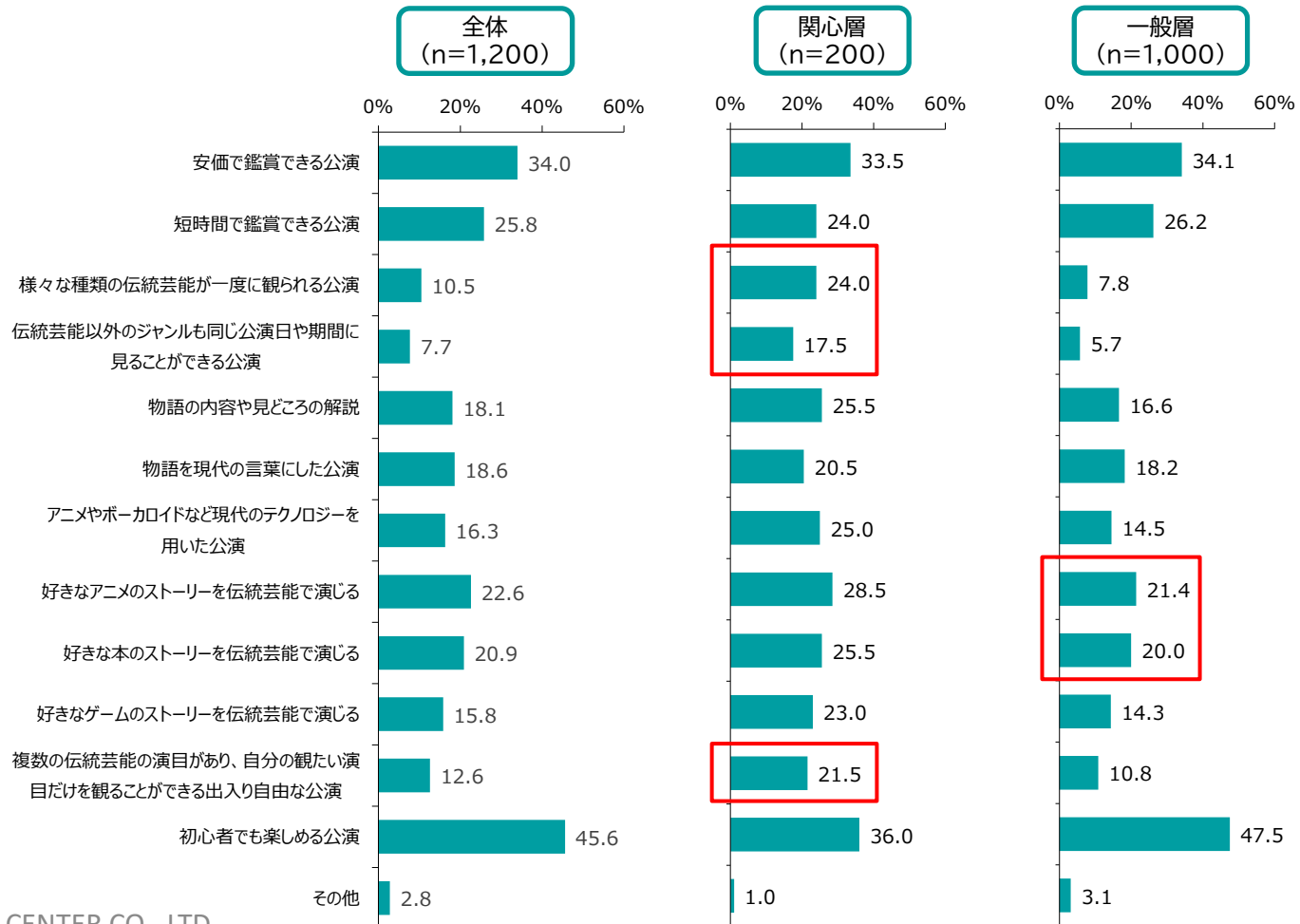
(複数回答)



- ◆ 関心層・一般層ともに「初心者でも楽しめる公演」が最も高く、次いで「安価で鑑賞できる公演」となっている。一般層については「短時間で鑑賞できる公演」が3番目に高くなっており、公演に手軽さを求めていることが窺える。
- ◆ 関心層は一般層と比較して、「様々な種類の伝統芸能が一度に観られる公演」「伝統芸能以外のジャンルも同じ公演日や期間に見ることができる公演」「複数の伝統芸能の演目があり、自分の観たい演目だけを観ることができる出入り自由な公演」が10ポイント以上高く、複数のジャンルや演目の公演にも関心をもつ傾向にある。
- ◆ 一般層は関心層に比べて全体的に割合は低いものの、「好きなアニメのストーリーを伝統芸能で演じる」「好きな本のストーリーを伝統芸能で演じる」は2割以上となっており、自身の関心に結びついた内容の公演の需要があることが窺える。

Q11.あなたは伝統芸能に関して、どのようなコンテンツであれば鑑賞してみたいと思いますか。

(複数回答)



- ◆ 関心層・一般層ともに「会場で直接」が5割程度、「YouTube」が4割程度となっている。
- ◆ 関心層は一般層と比較して、「X(旧Twitter)」「ラジオ」が10ポイント以上高い。関心層は一般層に比べて、全項目での割合が高いことから、会場でみるだけでなく様々な映像コンテンツを駆使して鑑賞したいという意向が窺える。

Q12.あなたは前問のコンテンツをどこで視聴したいですか。

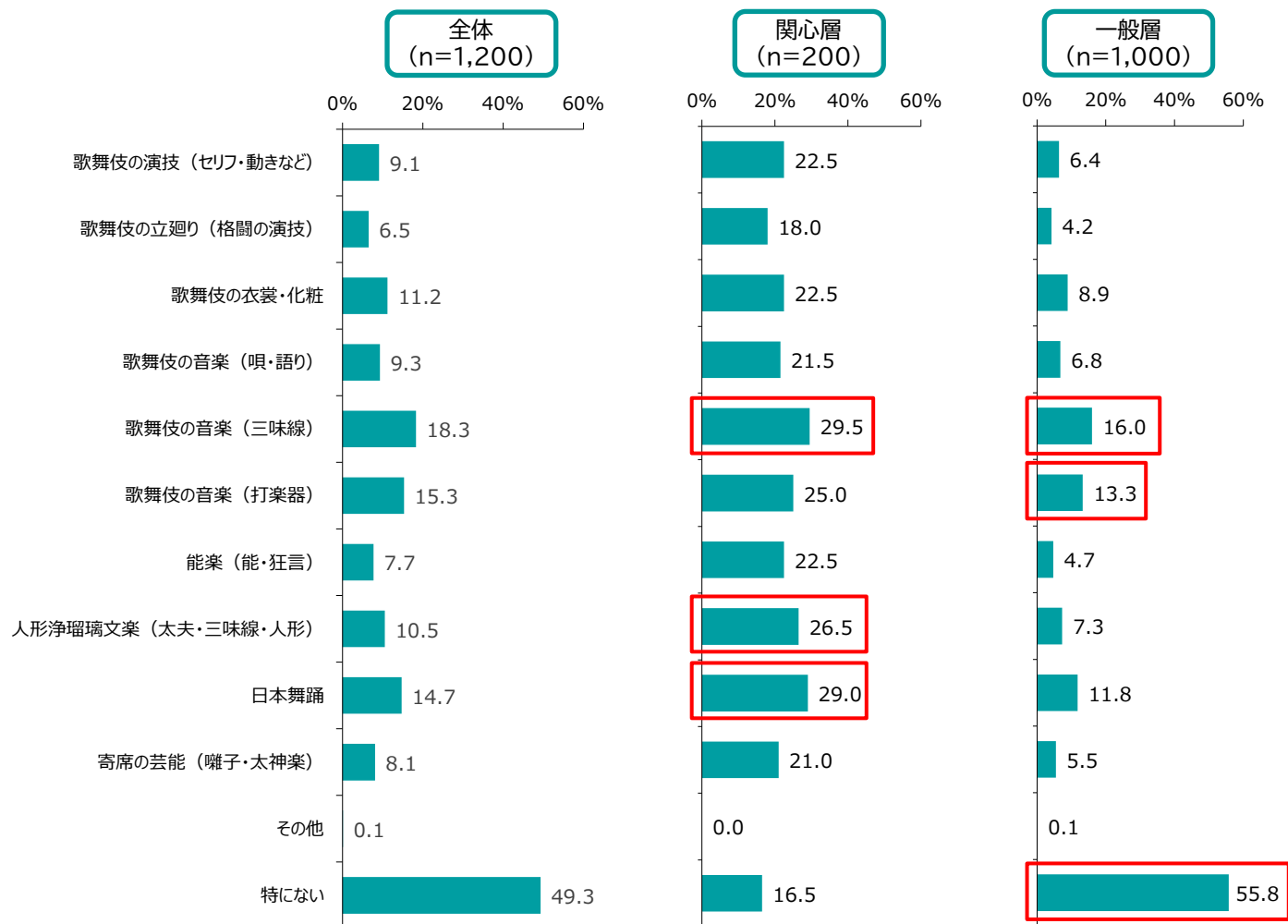
(複数回答)



- ◆ 関心層は「歌舞伎の音楽（三味線）」が29.5%と最も高く、次いで「日本舞踊」が29.0%、「人形浄瑠璃文楽（太夫・三味線・人形）」が26.5%となる。
- ◆ 一般層は「特にない」が55.8%を占めており、体験自体に関心がない割合が多い。一方で、「歌舞伎の音楽（三味線）」「歌舞伎の音楽（打楽器）」などの楽器に関する体験については15%前後の回答があった。

Q13. 次のうち、あなたが体験してみたいと思うものを選択してください。

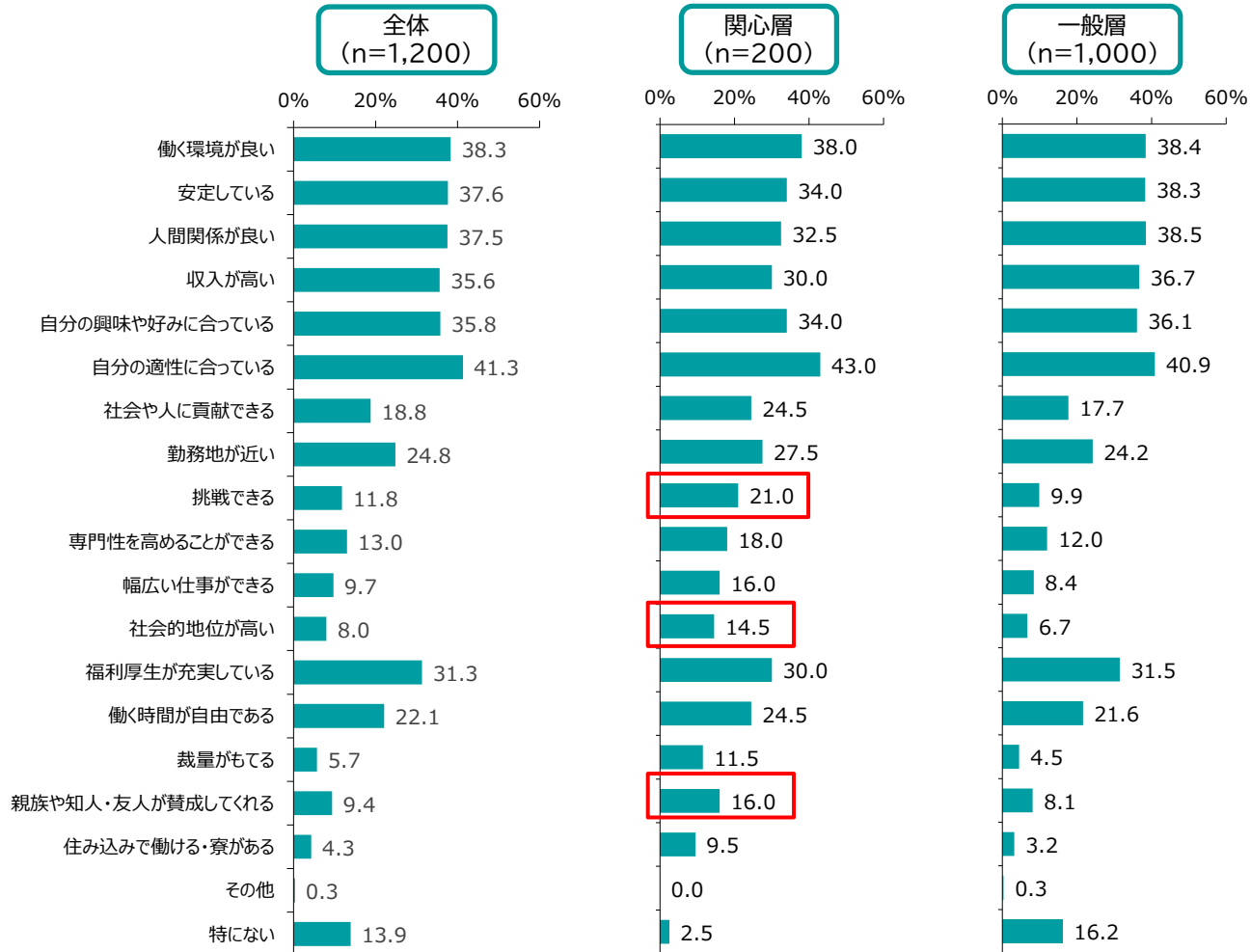
(複数回答)



- ◆ 関心層・一般層ともに「自分の適性に合っている」が4割以上と最も高く、次いで関心層では「働く環境が良い」が38.0%、一般層では「人間関係が良い」が38.5%となっている。
- ◆ 関心層は一般層と比較して、「挑戦できる」が10ポイント以上高く、「親族や知人・友人が賛成してくれる」「社会的地位が高い」などの周囲や社会での評価に関わる項目も8ポイント近く高い。一方で、一般層は関心層と比較して、「収入が高い」「人間関係が良い」が6ポイント以上高い。

Q14.あなたが職業を選択する上で重視することは何ですか。

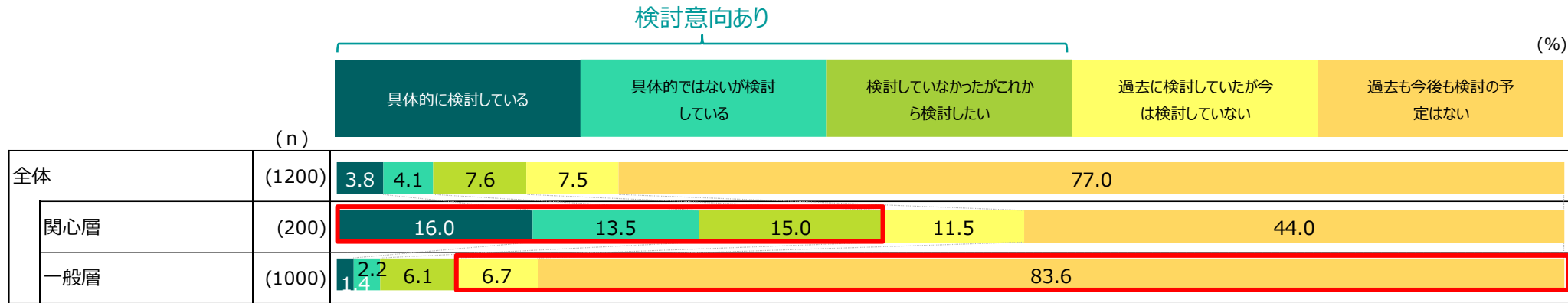
(複数回答)



- ◆ 関心層では、「具体的に検討している」が16.0%、「具体的ではないが検討している」が13.5%、「検討していなかったがこれから検討したい」が15.0%となっており、これらを合わせた44.5%が伝統芸能を職業として検討する意向があることがわかる。
- ◆ 一般層では、「過去も今後も検討の予定はない」が83.6%を占めており、「過去に検討していたが今は検討していない」の6.7%と合わせて、9割以上が伝統芸能の職業について検討の意向がないことがわかる。

Q15.あなたは、伝統芸能の職業に就くことを検討したことはありますか。

(単一回答)

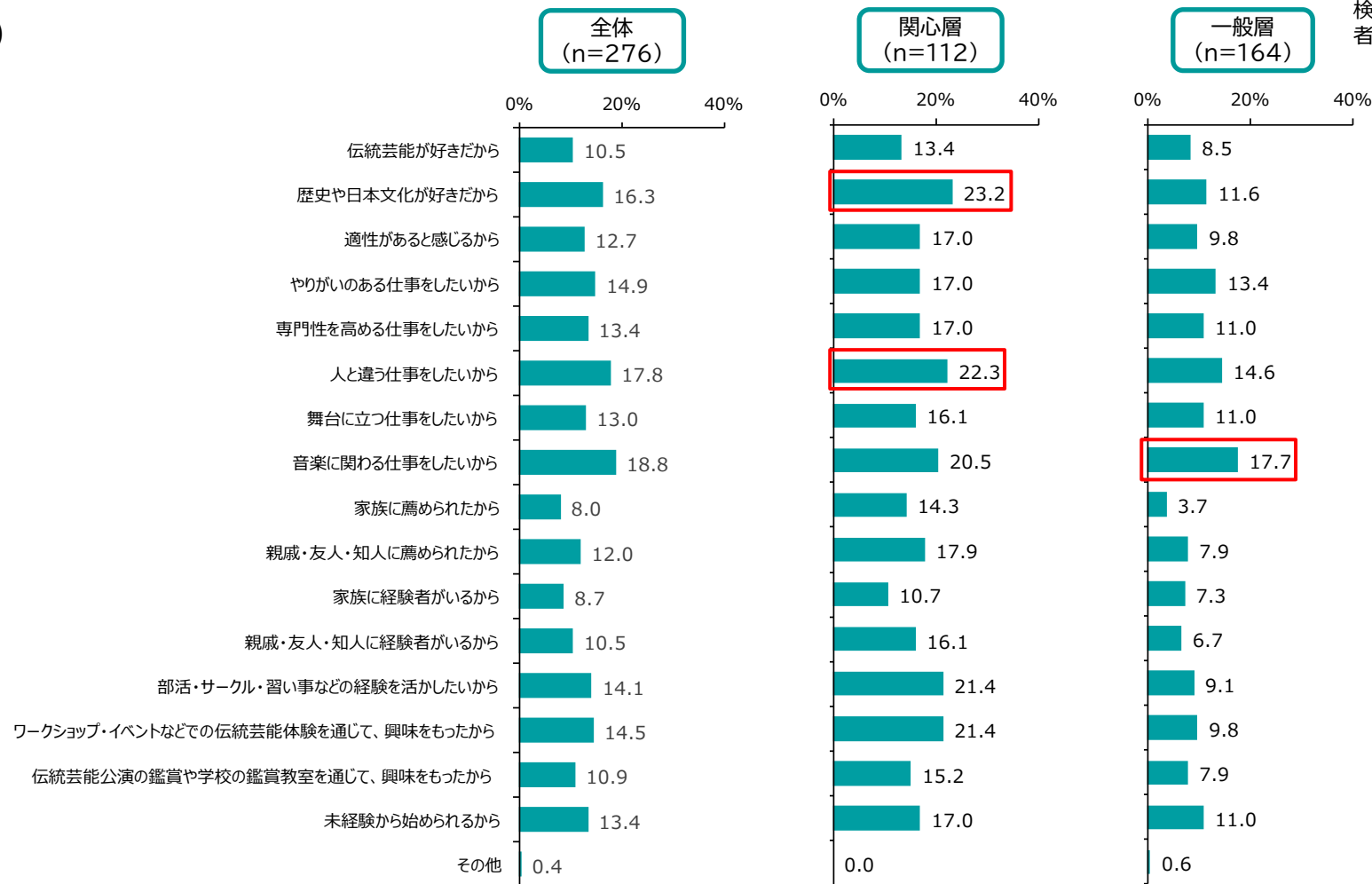


- ◆ 関心層では、「歴史や日本文化が好きだから」が23.2%と最も高く、次いで「人と違う仕事をしたいから」が22.3%となっており、伝統芸能自体よりも歴史や日本文化への興味・関心や、人と違うことができる点に惹かれて検討に繋がっていることが窺える。
- ◆ 一般層では、「音楽に関わる仕事をしたいから」が17.7%と最も高く、伝統芸能への関心があまり高くなくても音楽に関わる職業と捉えて検討しているケースもあることがわかる。

Q16.あなたが伝統芸能の職業を検討しようと思った理由は何ですか。

(複数回答)

※Q15で「具体的に検討している」～「過去に検討していたが今は検討していない」と回答した対象者のみ回答

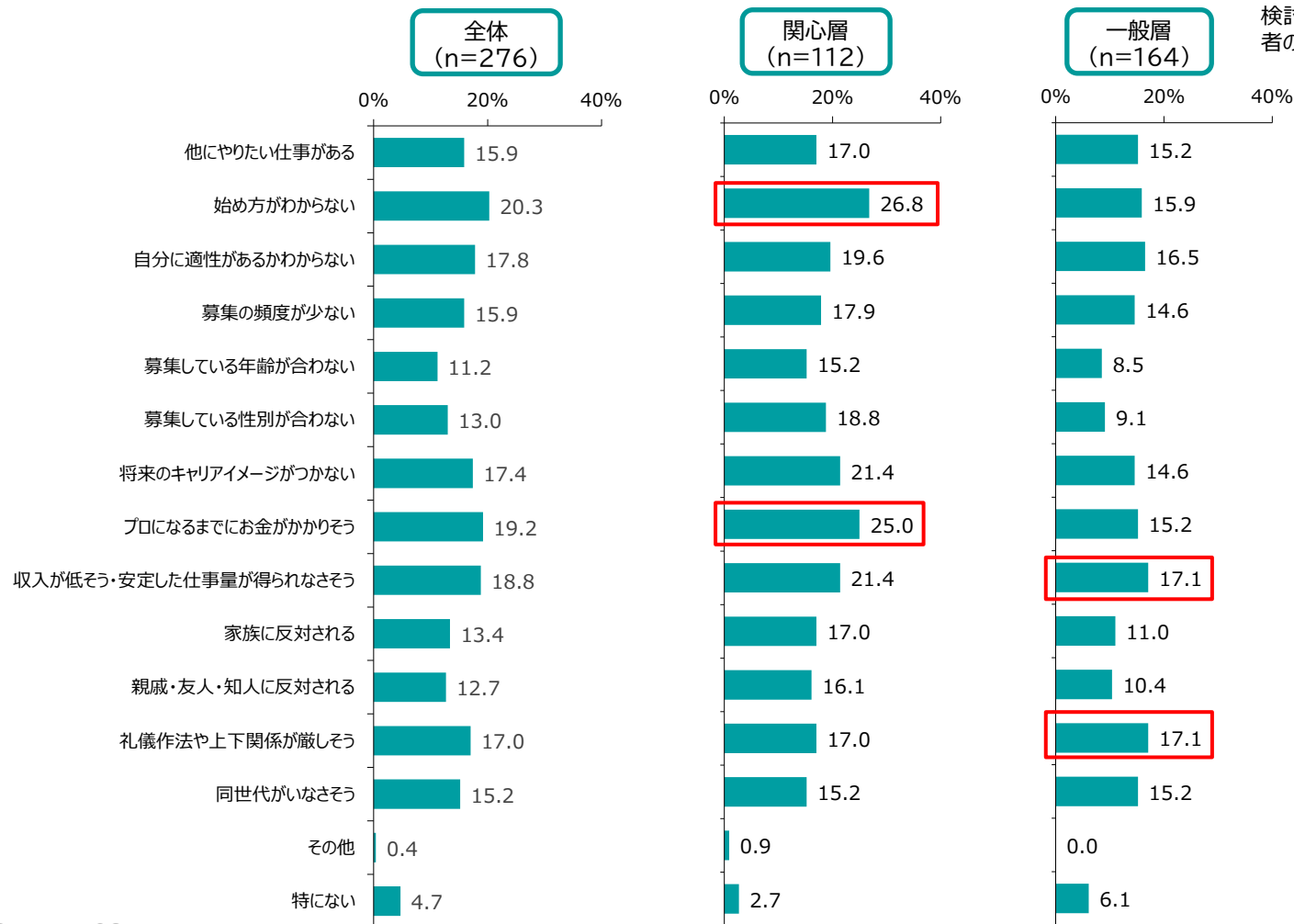


- ◆ 関心層では、「始め方がわからない」が26.8%と最も高く、次いで「プロになるまでにお金がかかりそう」が25.0%となっており、関心があっても始め方がわからなかったり、経済的な負担が重い印象があることが窺える。
- ◆ 一般層では、「収入が低そう・安定した仕事量が得られなさそう」「礼儀作法や上下関係が厳しそう」が17.1%と最も高く、収入や安定性の低さ、礼儀作法や上下関係の厳しさが職業としての伝統芸能のイメージとなっていることがわかる。

Q17.あなたが伝統芸能の職業を検討する上での不安（または検討をやめた理由）は何ですか。

(複数回答)

※Q15で「具体的に検討している」～「過去に検討していたが今は検討していない」と回答した対象者のみ回答

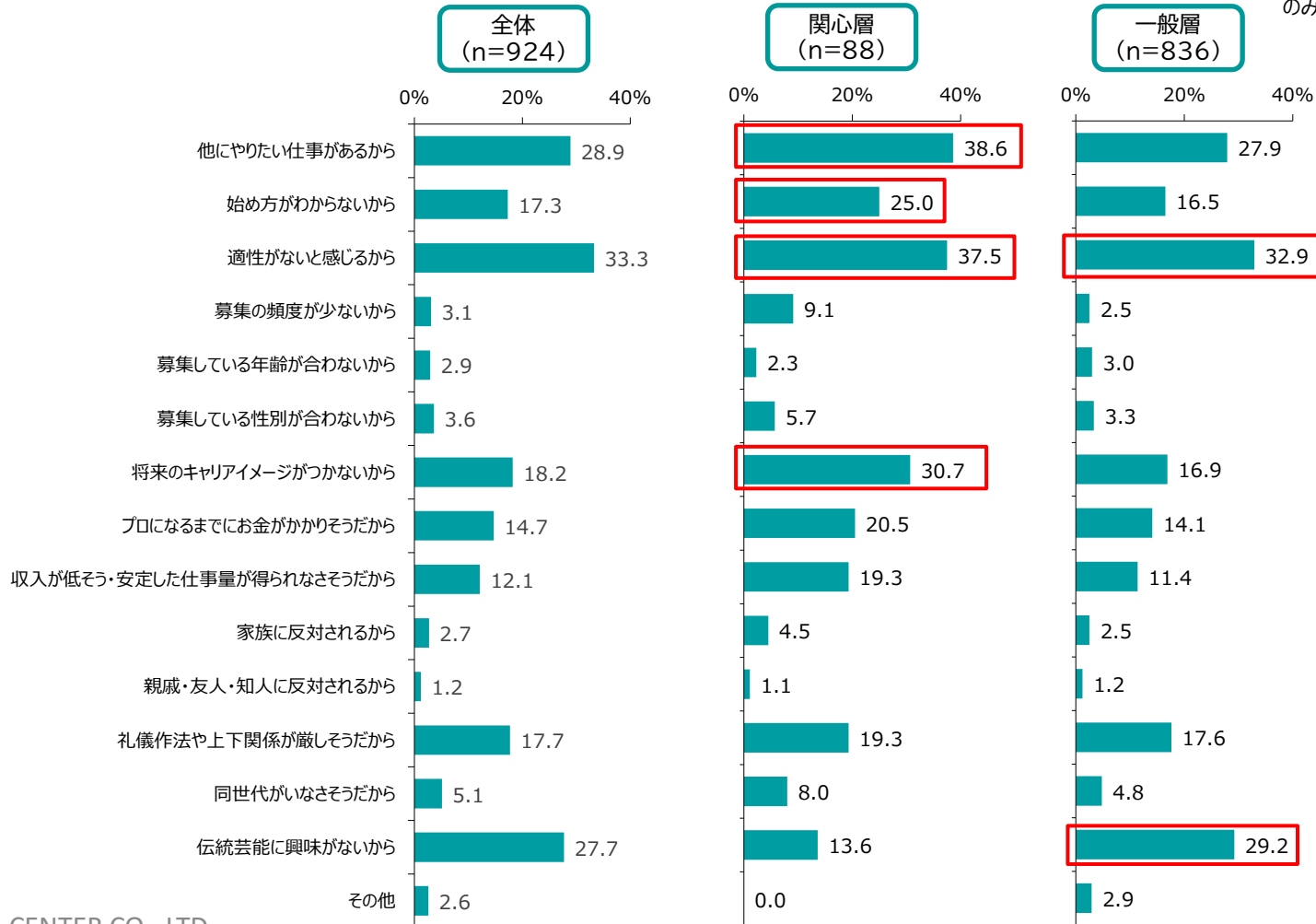


- ◆ 関心層では、「他にやりたい仕事があるから」が38.6%と最も高く、次いで「適性がないと感じるから」が37.5%、「将来のキャリアイメージがつかないから」が30.7%と続く。特に、「将来のキャリアイメージがつかないから」は一般層と比較して13.8ポイント高く、関心層の職業検討の上での阻害要因となっていることが窺える。また、「始め方がわからないから」についても前問と同様に高くなっており、検討に至るまでの障壁となっている。
- ◆ 一般層では、「適性がないと感じるから」が32.9%と最も高く、次いで「伝統芸能に興味がないから」が29.2%となっている。

Q18.あなたが伝統芸能の職業を検討しない理由は何ですか。

(複数回答)

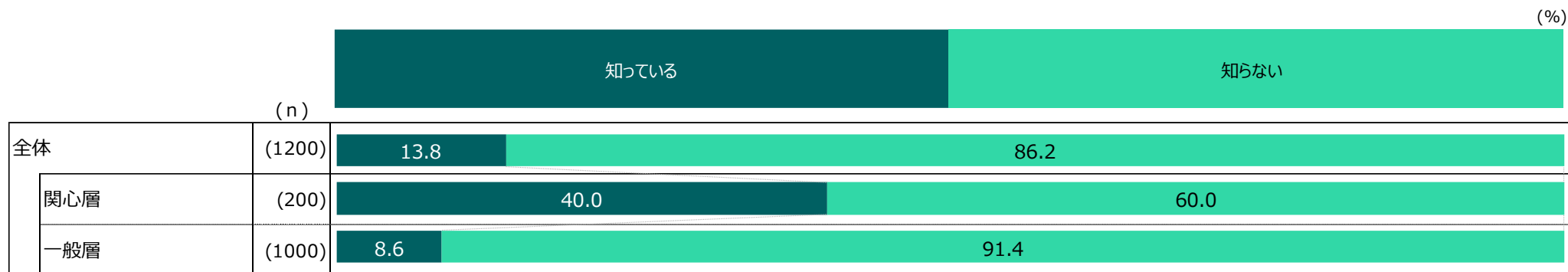
※Q15で「過去も今後も検討の予定はない」と回答した対象者のみ回答



- ◆全体で見ると、「知らない」が8割以上を占めている。
- ◆関心層については、「知っている」が4割と半数以下となっている。一般層については、「知らない」が9割以上を占めており、養成所の存在を認知していない人が多い。

Q19.あなたは、国立劇場養成所（伝統芸能の新たな担い手を養成する場所）を知っていますか。

（単一回答）

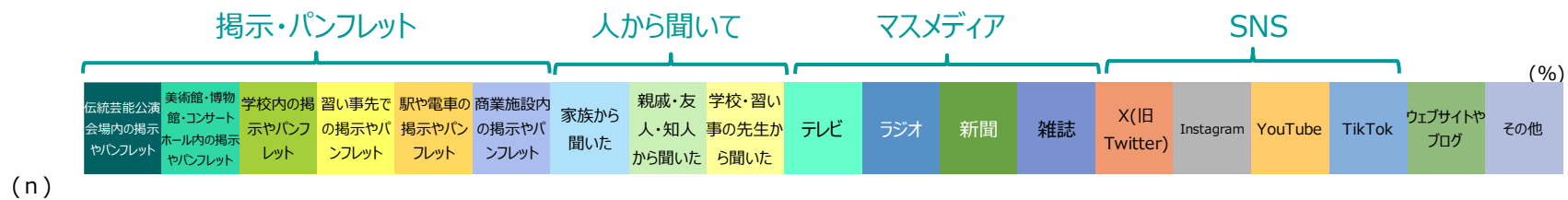


- ◆ 関心層は「学校内の掲示やパンフレット」「商業施設内の掲示やパンフレット」が10.0%と最も高く、次いで「美術館・博物館・コンサートホール内の掲示やパンフレット」が8.8%となっており、主に掲示やパンフレットから養成所の情報を得ていることがわかる。また、一般層と比較して「家族から聞いた」が5ポイント以上高い。
- ◆ 一般層は「テレビ」が22.1%と最も高く、次いで「学校内の掲示やパンフレット」が12.8%となっている。
- ◆ SNS（X(旧Twitter)・Instagram・YouTube・TikTok）で知った割合は、関心層では20.1%、一般層では14.0%となっており、関心層の方がSNSから養成所に関する情報を得る傾向がある。

Q20.あなたは、国立劇場養成所を何で知りましたか。

※Q19で「知っている」と回答した対象者のみ回答

(単一回答)



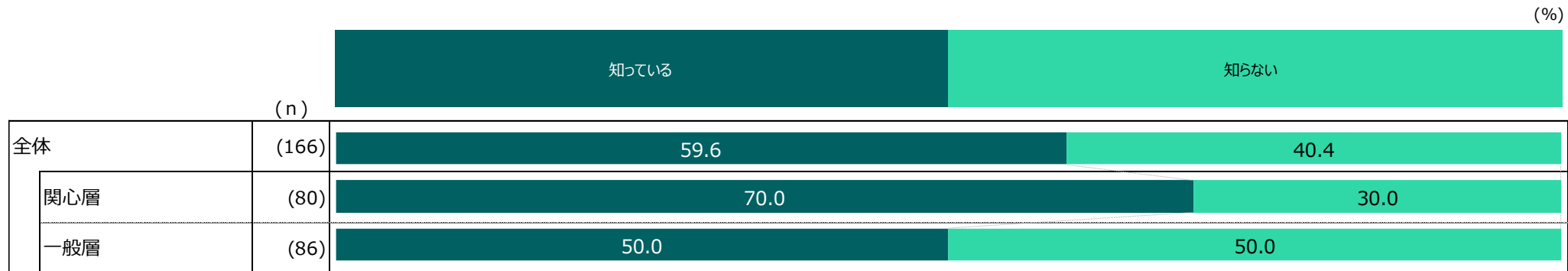
	(n)	(%)																		
		伝統芸能公演会場内の掲示やパンフレット	美術館・博物館・コンサートホール内の掲示やパンフレット	学校内の掲示やパンフレット	習い事先での掲示やパンフレット	駅や電車の掲示やパンフレット	商業施設内の掲示やパンフレット	家族から聞いた	親戚・友人・知人から聞いた	学校・習い事の先生から聞いた	テレビ	ラジオ	新聞	雑誌	X(旧Twitter)	Instagram	YouTube	TikTok	ウェブサイトやブログ	その他
全体	(166)	7.2	7.2	11.4	4.2	6.0	9.0	3.6	3.6	6.0	14.5	1.8	0.6	0.6	6.0	4.8	4.2	1.8	4.8	2.4
関心層	(80)	7.5	8.8	10.0	6.3	6.3	10.0	6.3	1.3	7.5	6.3	1.3	1.3	7.5	6.3	6.3	3.8	2.5		
一般層	(86)	7.0	5.8	12.8	2.3	5.8	8.1	1.2	5.8	4.7	22.1	0.0	2.3	0.0	4.7	3.5	2.3	3.5	5.8	2.3

◆国立劇場養成所の認知者のうち、一般から公募していることを「知っている」と回答した割合は、関心層では7割、一般層では5割となっている。

Q21. あなたは、一般の人で経験が無くても国立劇場養成所の研修生に応募ができることを知っていますか。

(単一回答)

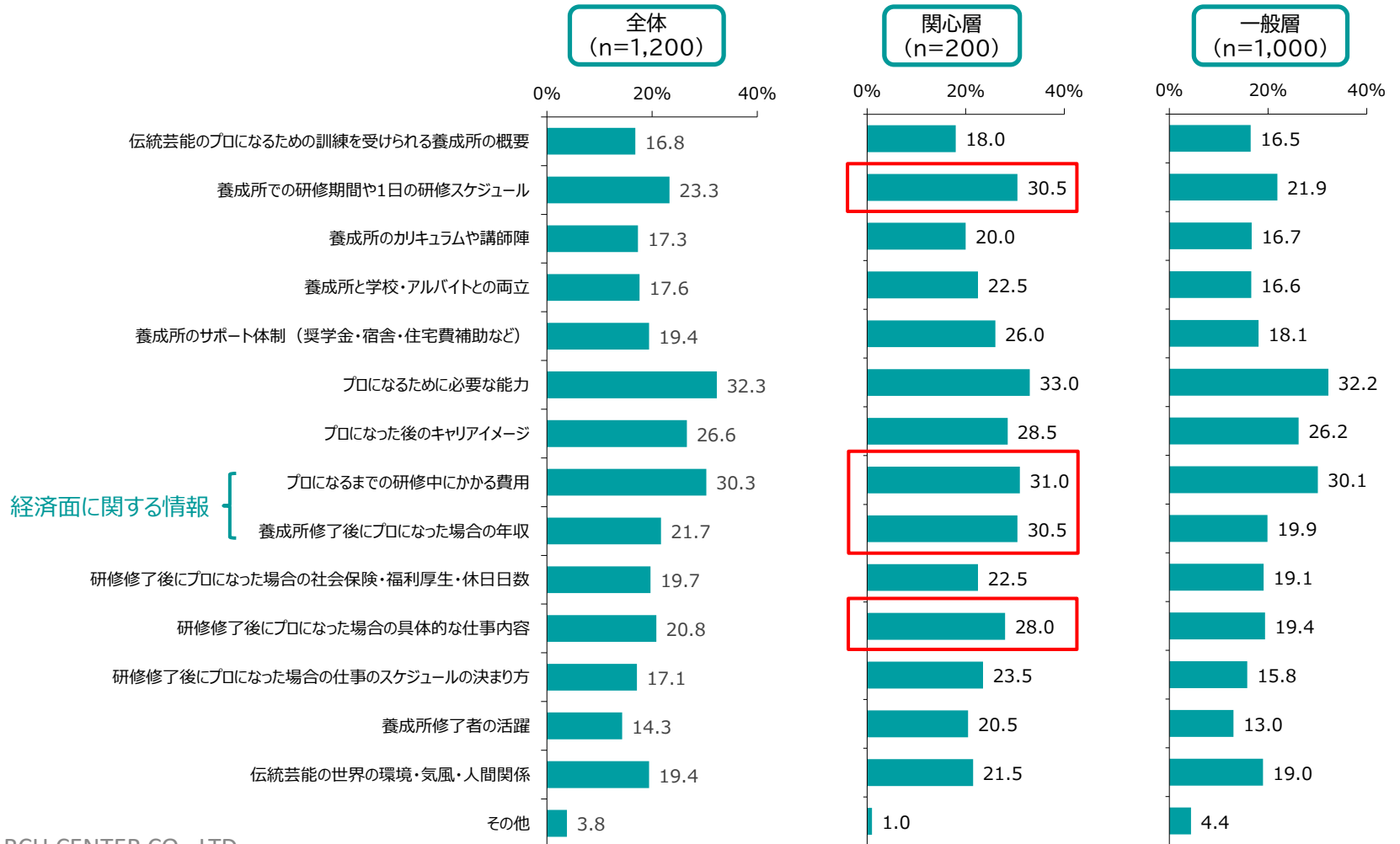
※Q19で「知っている」と回答した対象者のみ回答



- ◆ 関心層・一般層ともに「プロになるために必要な能力」が最も高く、次いで「プロになるまでの研修中にかかる費用」となっている。
- ◆ 関心層については、「プロになるまでの研修中にかかる費用」「養成所修了後にプロになった場合の年収」が3割以上となっており、経済面に関する情報も希望していることがわかる。また、「養成所での研修期間や1日の研修スケジュール」「研修修了後にプロになった場合の具体的な仕事内容」などの具体的な研修・仕事内容に関する情報についても、一般層と比較して希望している割合が高い。

Q22.あなたが伝統芸能を職業として考える上で知りたい情報は何か。

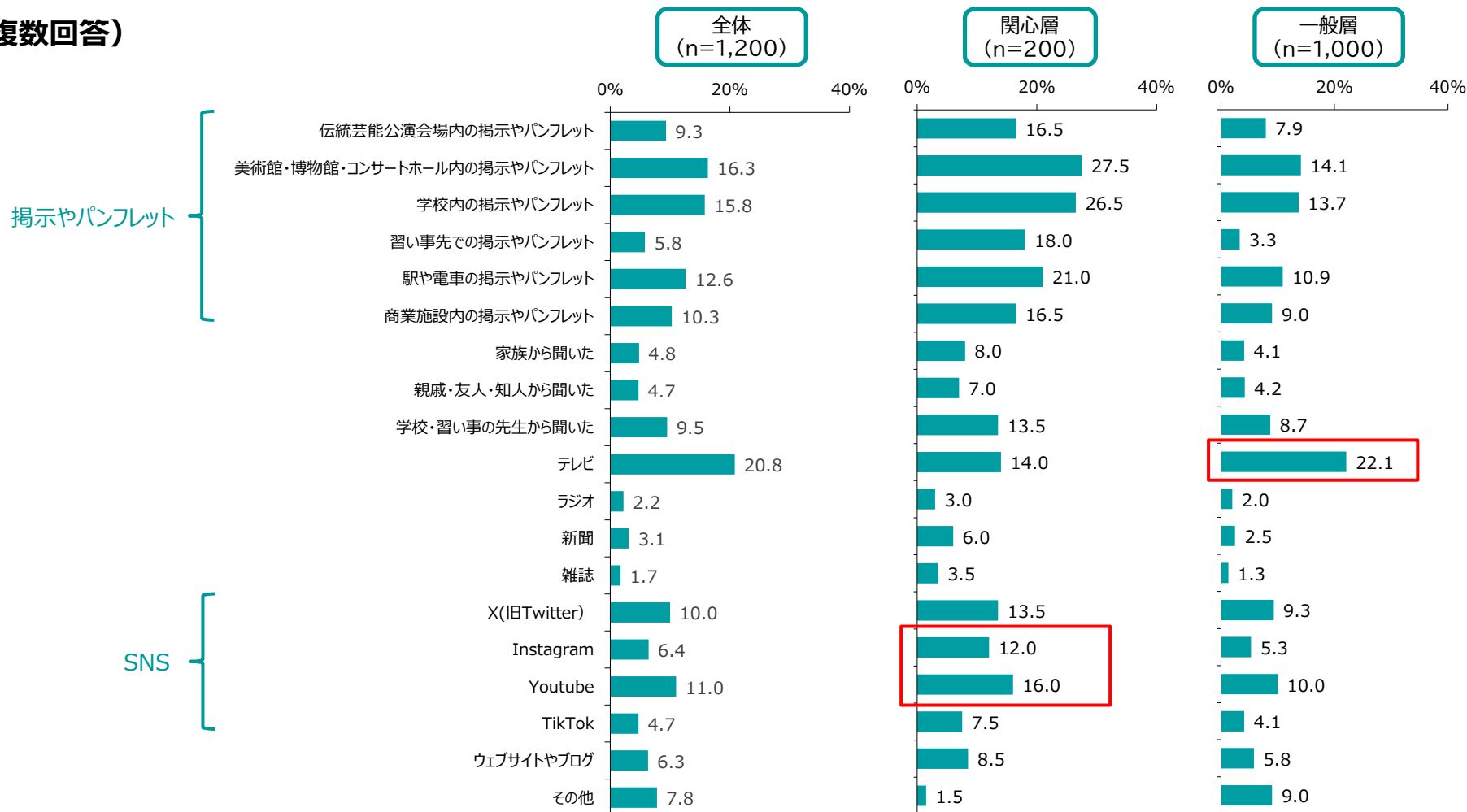
(複数回答)



- ◆ 関心層は「美術館・博物館・コンサートホール内の掲示やパンフレット」「学校内の掲示やパンフレット」が25%以上と高く、掲示やパンフレットで伝統芸能に関する情報に触れていることがわかる。一方で、一般層は「テレビ」が22.1%と高くなっている。
- ◆ SNS（X(旧Twitter)・Instagram・YouTube・TikTok）については、「Instagram」「YouTube」において関心層が一般層よりも5ポイント以上高くなっており、それ以外についても関心層が一般層を上回っている。

Q23.あなたが伝統芸能の公演や体験、募集の情報を目にしたことがある、耳にしたことがある場面を選択してください。

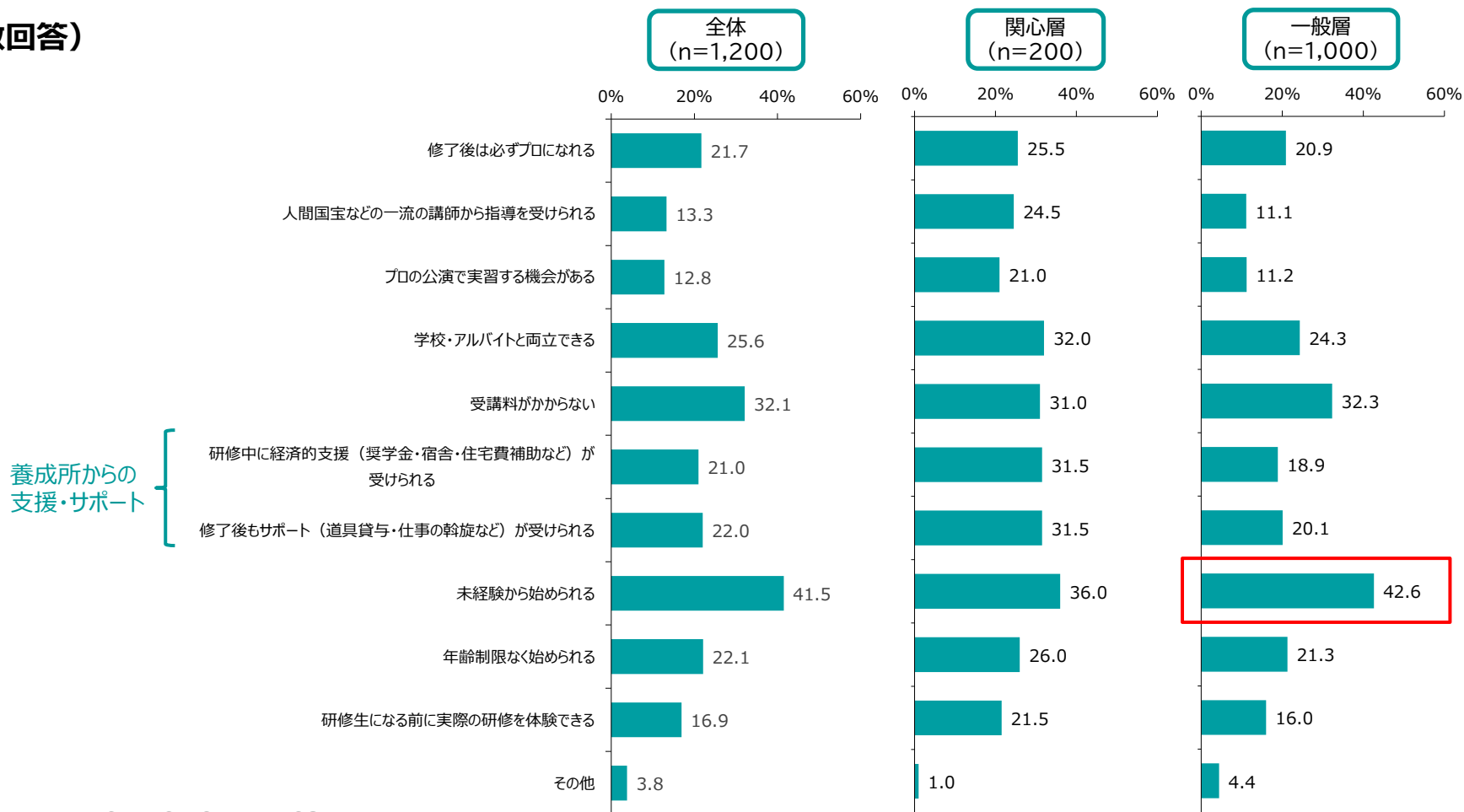
(複数回答)



- ◆ 関心層・一般層ともに「未経験から始められる」が最も高くなっている。
- ◆ 関心層では「学校・アルバイトと両立できる」「受講料がかからない」「研修中に経済的支援（奨学金・宿舍・住宅費補助など）が受けられる」「修了後もサポート（道具貸与・仕事の斡旋など）が受けられる」がいずれも3割程度となっている。中でも、「研修中に経済的支援（奨学金・宿舍・住宅費補助など）が受けられる」「修了後もサポート（道具貸与・仕事の斡旋など）が受けられる」については、一般層と比べて10ポイント以上高く、関心層はより、養成所からの支援・サポートを希望していることが窺える。
- ◆ 一般層では、「受講料がかからない」が32.3%、「学校・アルバイトと両立できる」が24.3%となっている。また、関心層と比較して、「未経験から始められる」が6.6ポイント高い。

Q24.あなたは、伝統芸能を学ぶ養成所がどのようなところであれば通いたいと思いますか。

(複数回答)

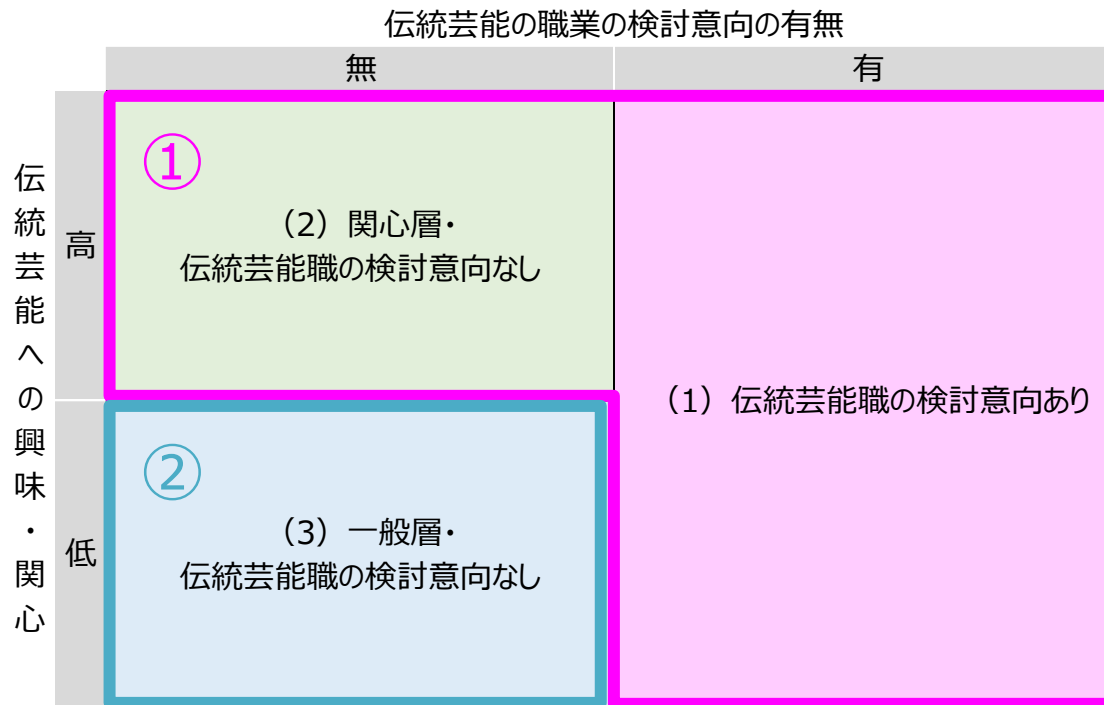


3. 今後に向けたご提案

【ご提案にあたっての考え方】

◆ 回答者を3つのセグメントに分類し、職業選択促進と興味関心向上の観点からご提案を行う。

- (1) 伝統芸能を職業として検討する意向がある層（具体的に検討している・具体的ではないが検討している・検討していなかったがこれから検討したい）
- (2) 関心層かつ伝統芸能を職業として検討する意向がない層（過去に検討していたが今は検討していない・過去も今後も検討の予定はない）
- (3) 一般層かつ伝統芸能を職業として検討する意向がない層（過去に検討していたが今は検討していない・過去も今後も検討の予定はない）



調査結果を受けての
ご提案ポイント

- ① 職業選択の促進に向けた環境整備や情報発信
- ② 伝統芸能への興味関心の向上

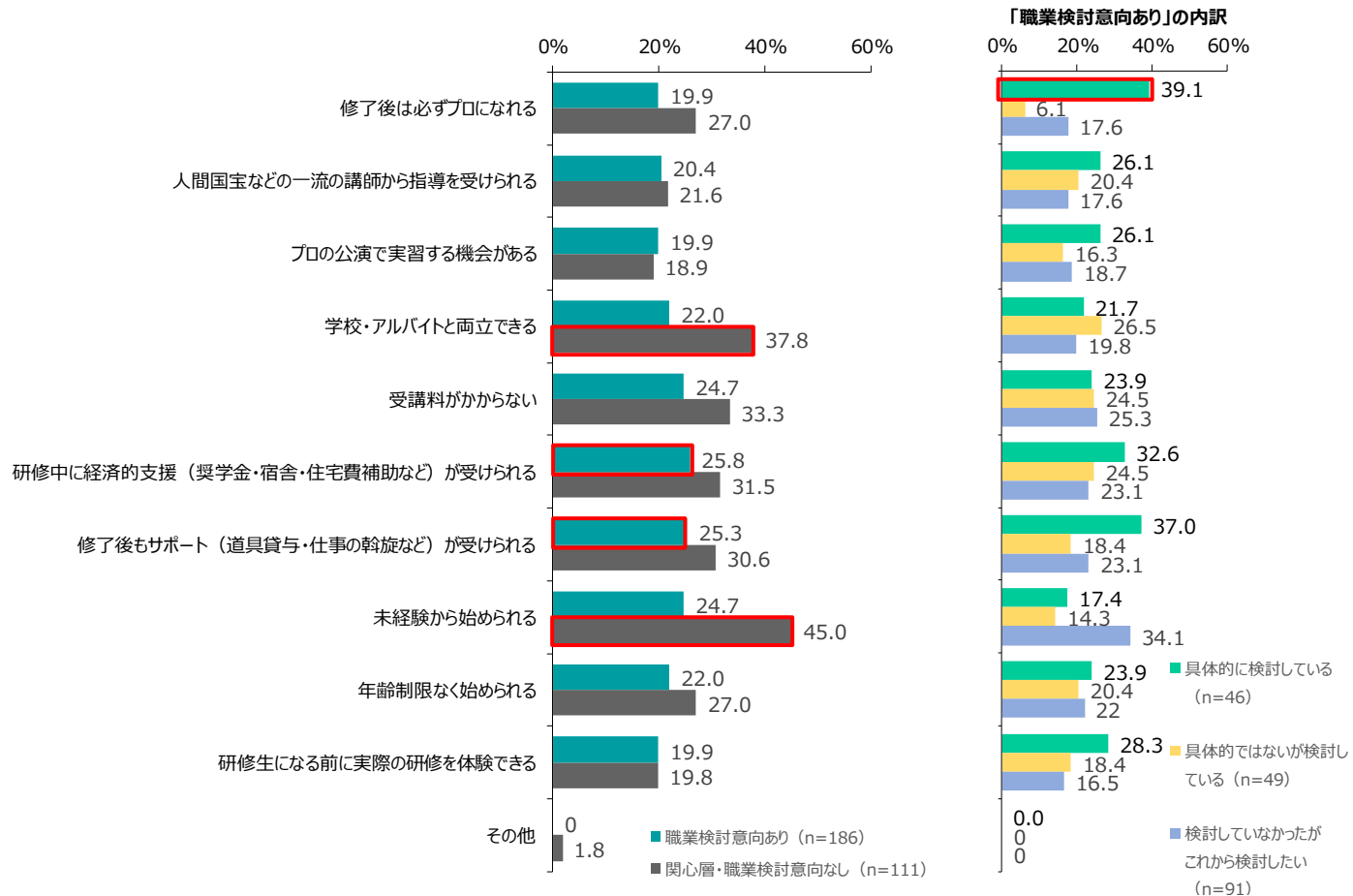
伝統芸能の職業検討者の特徴

- ✓ 伝統芸能の職業に就くことを「具体的に検討している」「具体的ではないが検討している」と回答している人の**65%以上が男性**。
- ✓ 職業別にみると、伝統芸能の職業に就くことを「具体的に検討している」「具体的ではないが検討している」と回答している割合の合計は、**「大学生・専門学生・大学院生」が9.7%**で最も高く、次いで**「社会人（会社員・会社役員・パート・アルバイト・自営業・自由業）」が8.2%**となっている。
- ✓ いずれの伝統芸能の分野においても、**「伝統芸能への興味関心度が高いほど、具体的に職業として検討している割合が高い」**。
- ✓ 進路別では、受験して進学予定の人に比べて、**「受験なしで進学予定の人」**の方が「具体的に検討している」「具体的ではないが検討している」「検討していなかったがこれから検討したい」と回答している割合が高い。
- ✓ 伝統芸能との接点については、具体的に検討している層ほど、**「家族・親戚・友人・知人が伝統芸能の経験者や好きな人」**である割合が高い。
- ✓ 具体的に検討している層では、職業選択において他の層に比べ、**「住み込みで働ける・寮がある」「親族や知人・友人が賛成してくれる」**を重視している。

職業検討段階別の通いたい養成所の条件

- 「職業検討意向あり」の層では、「**研修中に経済的支援（奨学金・宿舍・住宅費補助など）が受けられる**」「**修了後もサポート（道具貸与・仕事の斡旋など）が受けられる**」環境を希望している。
- 「職業検討意向あり」の層のうち、「具体的に検討している」層では「修了後は必ずプロになれる」かどうかを重視している。
- 「関心層・職業検討意向なし」の層では、「**未経験から始められる**」「**学校・アルバイトと両立できる**」環境を希望している。

Q24.あなたは、伝統芸能を学ぶ養成所がどのようなところであれば通いたいと思いますか。

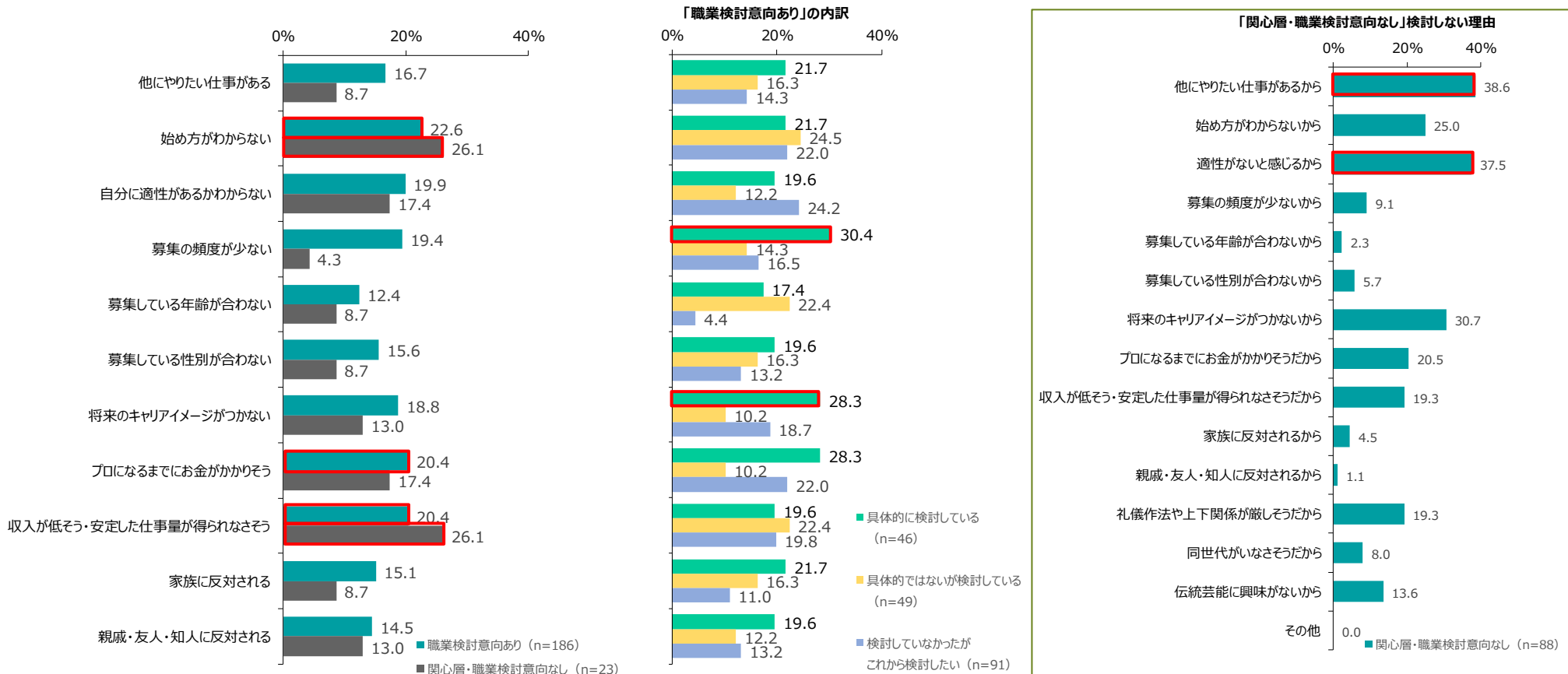


①職業選択の促進に向けた環境整備や情報発信

職業選択における不安・職業として検討しない理由

- 「職業検討意向あり」の層では、「始め方がわからない」という不安や「プロになるまでにお金がかかりそう」「収入が低そう・安定した仕事量が得られなさそう」などの経済面での不安が高くなっている。
- 「職業検討意向あり」の層のうち、「具体的に検討している」層では、「募集の頻度が少ない」「将来のキャリアイメージがつかない」という不安が大きい。
- 「関心層・職業検討意向なし」の層では、検討をやめた理由として、「始め方がわからない」「収入が低そう・安定した仕事量が得られなさそう」が高い。
- 「関心層・職業検討意向なし」の層では、検討自体も行わない理由として、「他にやりたい仕事があるから」「適性が無いと感じるから」が高い。

Q17.あなたが伝統芸能の職業を検討する上での不安（または検討をやめた理由）は何ですか。



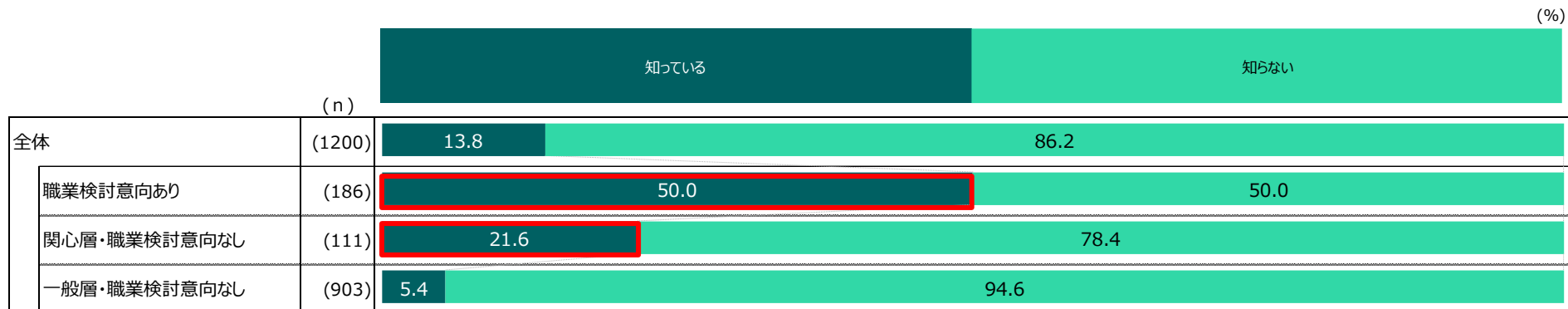
養成所の認知

○国立劇場養成所の認知は、「職業検討意向あり」の層においても5割にとどまっており、「関心層・職業検討意向なし」の層においては2割程度と低い。また、養成所認知者のうち、一般から公募していることを認知している割合は、「職業検討意向あり」の層において約8割を占めている一方で、「関心層・職業検討意向なし」の層においては約4割※となっている。

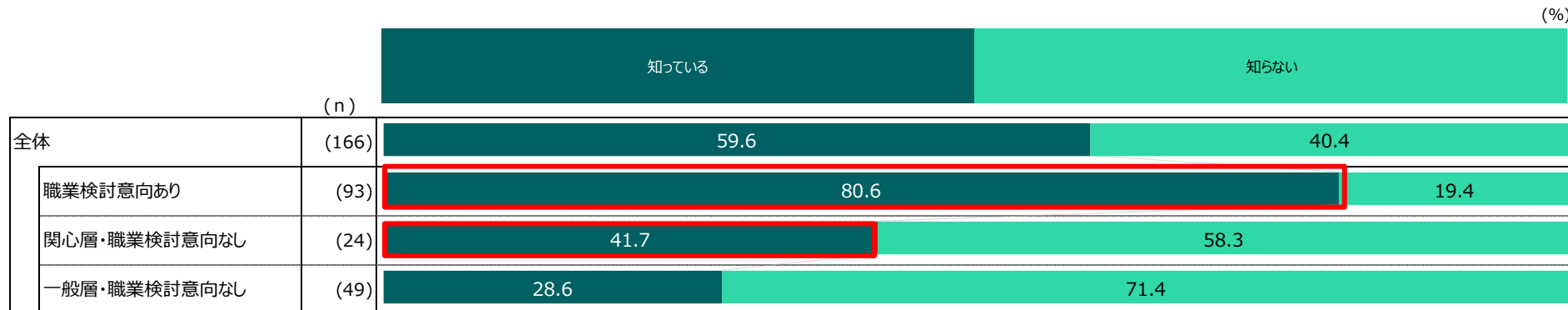
特に、「関心層・職業検討意向なし」の層については、前述の結果の通り、適性や未経験から始めることに対する不安が大きいことが窺えるため、**伝統芸能に関心はあるものの、一般の人でも就職できることを認知しておらず職業選択に至っていない可能性がある。**

※サンプルサイズが30以下のため参考値

Q19.あなたは、国立劇場養成所（伝統芸能の新たな担い手を養成する場所）を知っていますか。



Q21.あなたは、一般の人で経験が無くても国立劇場養成所の研修生に応募ができることを知っていますか。

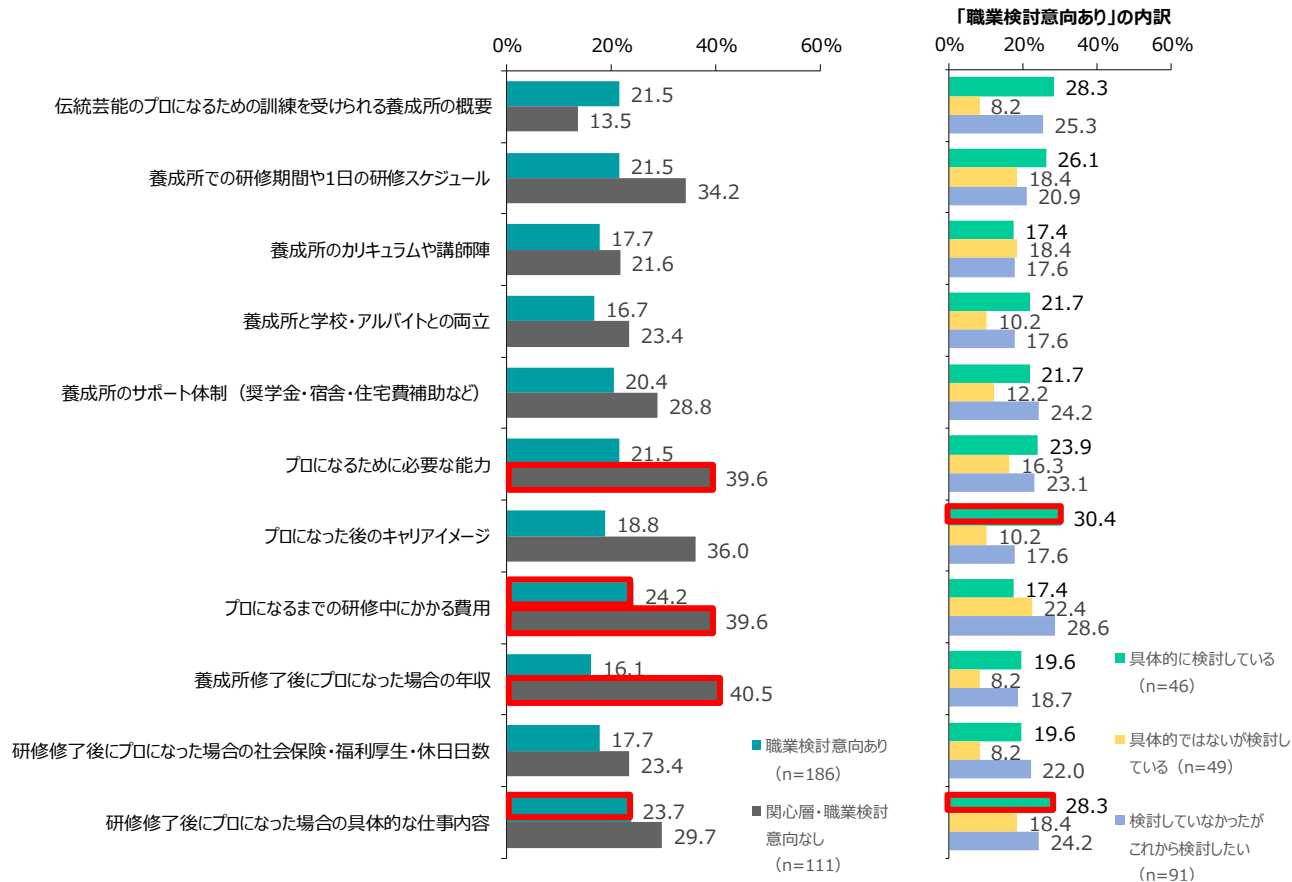


①職業選択の促進に向けた環境整備や情報発信

職業検討に必要な情報

- 「職業検討意向あり」の層では、「プロになるまでの研修中にかかる費用」「研修修了後にプロになった場合の具体的な仕事内容」に関する情報を希望している。
- 「職業検討意向あり」の層のうち、「具体的に検討している」層では、「**プロになった後のキャリアイメージ**」「**研修修了後にプロになった場合の具体的な仕事内容**」などのプロになった後の具体的な情報が高い。
- 「関心層・職業検討意向なし」の層では、「養成所修了後にプロになった場合の年収」「プロになるために必要な能力」「プロになるまでの研修中にかかる費用」など、経済面を中心にプロになった場合の情報を希望している傾向にある。

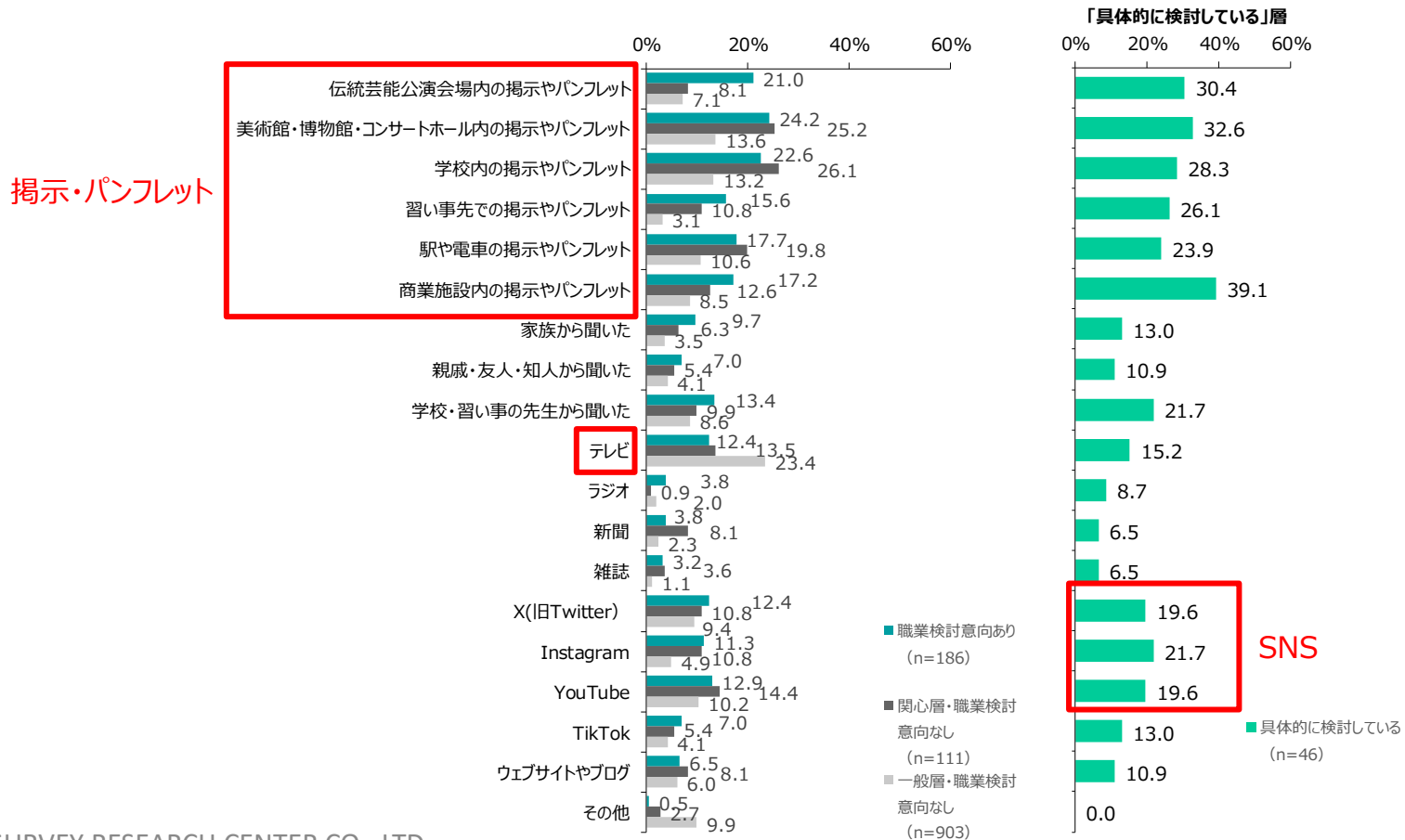
Q22.あなたが伝統芸能を職業として考える上で知りたい情報は何ですか。



伝統芸能に関する情報の入手媒体

- 「職業検討意向あり」の層や「関心層・職業検討意向なし」の層では、「学校内の掲示やパンフレット」「美術館・博物館・コンサートホール内の掲示やパンフレット」などの掲示やパンフレットで情報を入手している割合が高い。一方で、「一般層・検討意向なし」の層では、「テレビ」が主な情報入手媒体となっている。
関心度が高い層の方が掲示やパンフレットで情報に触れる機会が多い傾向にある。
- 「職業検討意向あり」の層のうち、「具体的に検討している」層では、「職業検討意向あり」の層と同様に掲示やパンフレットの割合が高いものの、「Instagram」「X(旧Twitter)」「YouTube」等の**SNSから入手している割合も2割程度と高い。**

Q23.あなたが伝統芸能の公演や体験、募集の情報を目にしたことがある、耳にしたことがある場面を選択してください。



職業選択の促進に向けたご提案

情報発信

職業検討意向がある層へ向けて

✓ プロの仕事内容やキャリアについての情報の発信

職業検討意向が高い層ほど、プロになった後についての具体的な情報を求めていることが読み取れた。そのため、**プロの仕事に密着した内容やキャリア形成の手本となるロールモデルについての情報を発信**することにより、職業検討者がプロになった後のイメージを深めることができ、職業選択の促進に繋がることが考えられる。

✓ 職業を目指す上での“始め方”についての情報提供

伝統芸能の職業に興味があるものの、「始め方がわからない」という課題を抱える人の割合が2割以上と多い。**伝統芸能の職業に興味がある人に向けた相談窓口の設置や説明会を開催**することにより、伝統芸能の始め方がわからず職業選択に至らない人を減少させることができると考えられる。

✓ SNSでの情報発信

伝統芸能に関する情報に触れる場について、関心度が低い層は劇場やホールに出向く機会が少ないこともあり、掲示やパンフレットを見る機会が少ないことが窺える。また、具体的に検討している層は、「Instagram」「X(旧Twitter)」「YouTube」等のSNSからも情報を入手している傾向にあった。

SNSでの情報発信は、具体的に検討している層へリーチすることができるだけでなく、SNS広告などで不特定多数に情報を発信することで、掲示やパンフレットを目にする機会がない一般層の情報に触れる機会の創出にもつながる。

アピール

職業検討意向がある層へ向けて

✓ 経済的支援やサポート体制の強化・アピール

職業検討意向がある層では、経済的支援（奨学金・宿舍・住宅費補助など）やサポート（道具貸与・仕事の斡旋など）が受けられる環境を希望している。また、職業選択における不安として、プロになるまでの費用についてや収入・安定性についてが挙げられていた。**プロになるまでの経済的支援や修了後に仕事を受けることができるようにサポートする体制を強化し、職業検討者にアピール**することが求められる。

関心はあるが職業検討意向がない層へ向けて

✓ 未経験から始められることをアピール

職業検討意向がない層では、「未経験から始められる」ことを希望する割合が45%と高い。また、国立劇場養成所の認知者であっても、一般の未経験の人でも応募ができることを認知していない割合が4割を占める。**「未経験から始められる」ことをアピール**することにより、伝統芸能の職業を選択肢の1つとして考える人の増加が期待できる。

見直し

職業検討意向がある層へ向けて

✓ 募集の頻度の見直し

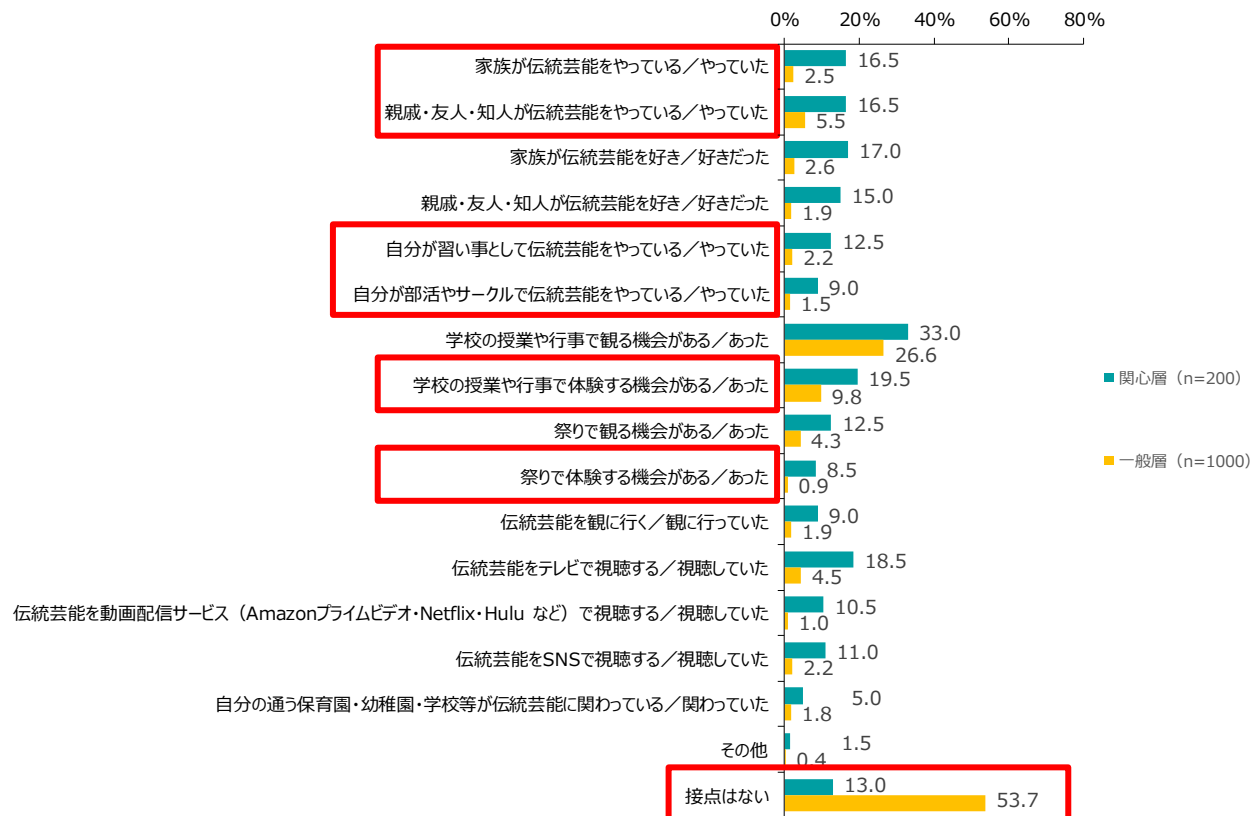
伝統芸能の職業を具体的に検討している層の3割が募集の頻度が少ないと感じていることが明らかになった。**各分野の職業検討者に対して調査等を実施し、希望する募集の頻度を具体的に聴取**することで、募集のタイミングにより応募を断念する人を減少させることができると考えられる。

② 伝統芸能への興味関心の向上

興味関心度別の伝統芸能との接点

- 自身や周囲の体験の観点でみると、関心層については、家族や親戚・知人・友人が「伝統芸能をやっている／やっていた」割合が16.5%と一般層と比べて10ポイント以上高い。また、「自分が習い事として伝統芸能をやっている／やっていた」「自分が部活やサークルで伝統芸能をやっている／やっていた」等の自身が伝統芸能をやっている（やっていた）場合も一般層と比べて7.5ポイント以上の差が見られた。単発の体験機会としては、「学校の授業や行事で体験する機会がある／あった」が19.5%と高く、関心層と一般層で9.7ポイントの差がみられた。また、「祭りで体験する機会がある／あった」についても関心層が一般層と比べて7.6ポイント高い。また、上記のうち1つでも回答があった割合は関心層の51.0%を占めており、**関心層は自身や周囲が伝統芸能を体験している割合が高い傾向にある。**
- 「接点はない」については、一般層が53.7%となっており、接点の有無が興味関心に影響していることがわかる。

Q1.あなたの身近に伝統芸能との接点がありましたか。

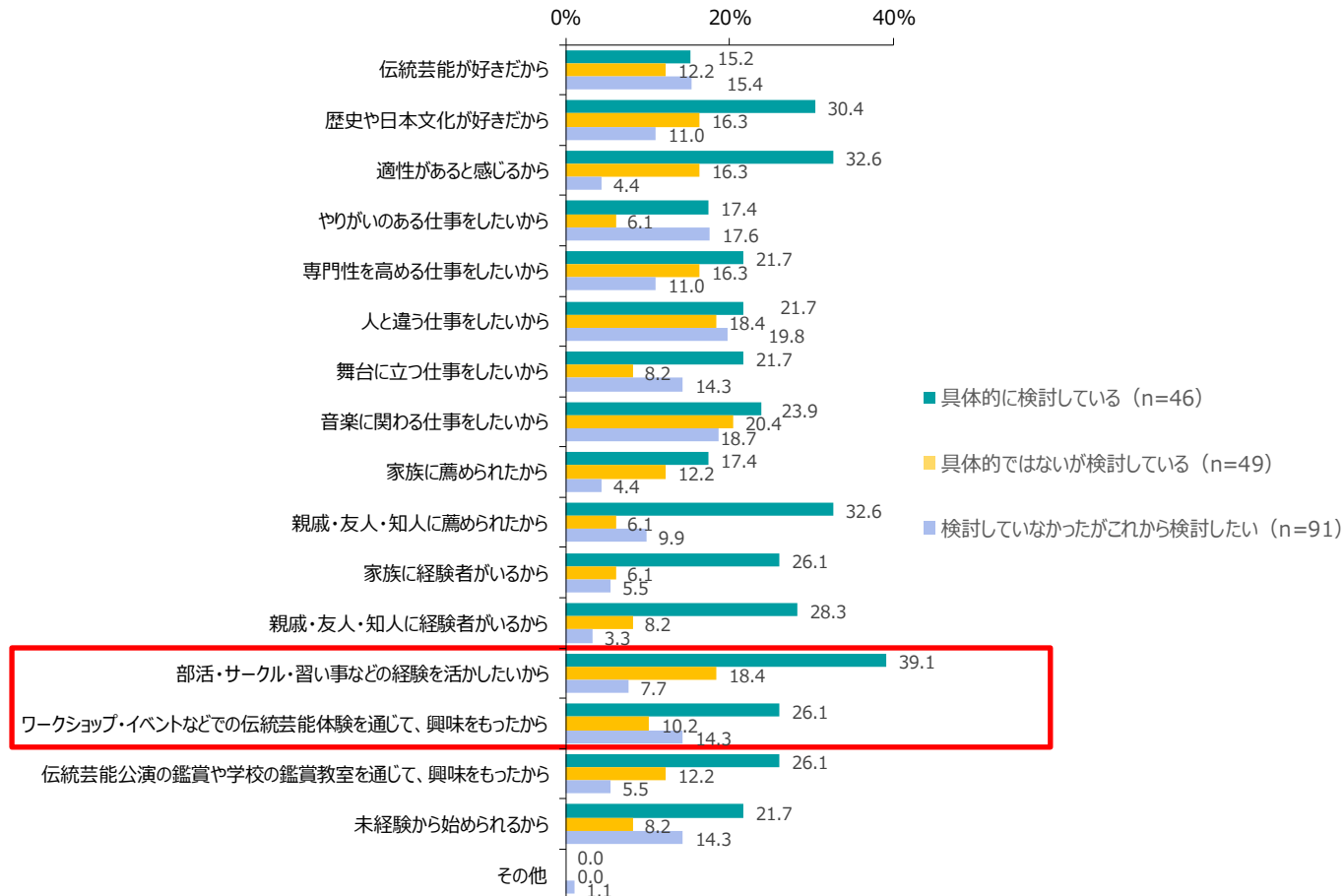


② 伝統芸能への興味関心の向上

伝統芸能体験が職業選択意向に与える影響

- 伝統芸能の職業の検討意向がある層のうち、「具体的に検討している」層では「部活・サークル・習い事などの経験を活かしたいから」が最も高い。
- 「ワークショップ・イベントなどでの伝統芸能体験を通じて、興味をもったから」については、具体的に検討している層の26.1%、具体的にないが検討している・検討していなかったがこれから検討したい層の10%以上で職業検討の理由に繋がっている。

Q16.あなたが伝統芸能の職業を検討しようと思った理由は何ですか。



② 伝統芸能への興味関心の向上

興味関心度別の伝統芸能体験機会【体験有無・時期】

- 各分野において体験したことがある割合は、関心層が一般層と比較して概ね10ポイント以上高くなっており、**体験の有無が興味・関心に影響を与えていることがわかる。**
- 体験を始めて行うタイミングとしては、一部参考値となるが、関心度は一般層に比べて12歳以下で体験している割合が高いことがわかる。差が小さかった歌舞伎や能楽（能・狂言）についても、9歳以下での経験でみると、関心層が一般層と比較して14ポイント以上高い。**幼少の頃の体験機会が関心度に影響を与えていることが窺える。**

分野別 体験したことがある割合

	体験したことがある割合 (%)	
	関心層	一般層
歌舞伎	13.0	1.9
日本音楽 (三味線・囃子・太鼓・長唄・義太夫など)	24.0	8.7
能楽（能・狂言）	20.5	3.5
人形浄瑠璃文楽	14.0	2.3
日本舞踊	17.0	3.1
寄席の芸能 (落語・講談・太神楽・漫才・奇術など)	16.0	2.7
雅楽	14.5	2.1
組踊	11.5	2.0

分野別 幼少期に体験したことがある割合

	9歳以下で 体験したことがある割合		12歳以下で 体験したことがある割合	
	関心層	一般層	関心層	一般層
歌舞伎	42.3 [※]	15.8 [※]	53.8 [※]	52.6 [※]
日本音楽 (三味線・囃子・太鼓・長唄・義太夫など)	37.5	19.5	62.5	56.3
能楽（能・狂言）	31.8	17.2	61.1	60.1
人形浄瑠璃文楽	35.7 [※]	13.0 [※]	67.8 [※]	39.1 [※]
日本舞踊	44.1	32.3	58.8	51.7
寄席の芸能 (落語・講談・太神楽・漫才・奇術など)	46.9	29.6 [※]	71.9	51.8 [※]
雅楽	27.6 [※]	4.8 [※]	86.2 [※]	47.7 [※]
組踊	56.5 [※]	15.0 [※]	69.5 [※]	50.0 [※]

※サンプル数が30以下のため参考値

興味関心度別の伝統芸能体験機会【体験回数】

○これまでに伝統芸能を体験したことがある人のうち、2回以上体験を行ったことがある割合は、いずれの分野でも関心層では6割以上となっており、一般層と比較して5ポイント以上高い。特に、「能楽（能・狂言）」については関心層が一般層よりも20ポイント以上高くなっている。特に、どの分野においても「**2回**」体験を行った場合は、「**1回**」のみの場合と比較して関心度が高くなることが窺える。

※関心層・一般層ともにサンプルサイズが30より大きい分野のみ掲載。

Q7.あなたは以下の伝統芸能をこれまでに何回、体験を行いましたか。



② 伝統芸能への興味関心の向上

興味関心度別の体験したい内容

※一般層をより細分化して分析するために、一般層を一般層①（伝統芸能にどちらかといえば興味・関心がある層）と一般層②（伝統芸能にどちらかといえば興味・関心がない、興味・関心がない層）に分けて集計を行った。

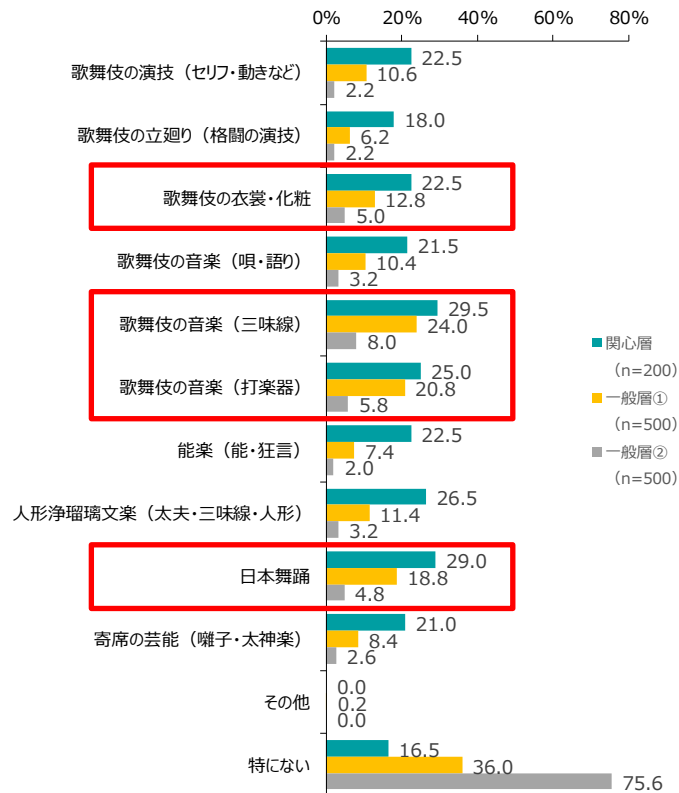
○伝統芸能に関する体験したい内容（図1）として、一般層①②ともに「歌舞伎の音楽（三味線）」が最も高く、次いで「歌舞伎の音楽（打楽器）」が高い。

音楽（楽器）に関わるコンテンツは、伝統芸能への興味・関心があまり高くない層においても取り組みやすい内容であると考えられる。

○「歌舞伎の衣裳・化粧」「日本舞踊」については、一般層①②ともに3番目または4番目に高い項目となっており、比較的関心度の高い内容であることがわかる。

○趣味と体験したいコンテンツの関係（図2）をみると、「歌舞伎の音楽（三味線）」と「歌舞伎の音楽（打楽器）」については音楽関連の趣味をもつ人の3割前後が体験したいと思っていることがわかる。また、「歌舞伎の衣裳・化粧」「日本舞踊」については、美術関連の趣味や舞台芸術、写真撮影の趣味をもつ人の関心が高いことが窺える。

（図1） Q13. 次のうち、あなたが体験してみたいと思うものを選択してください。



関心層：伝統芸能に興味・関心がある
 一般層①：伝統芸能にどちらかといえば興味・関心がある
 一般層②：伝統芸能にどちらかといえば興味・関心がない、興味・関心がない

（図2）一般層（①②）の体験したいコンテンツと趣味との関係

		体験したいコンテンツ（一般層の回答が多かった4項目）			
		歌舞伎の音楽（三味線）	歌舞伎の音楽（打楽器）	歌舞伎の衣裳・化粧	日本舞踊
各人の割合が高い趣味を選択した	1位	楽器の演奏 34.4%	クラシック音楽鑑賞 29.3%	美術・絵画・造形 19.0%	美術・絵画・造形 27.0%
	2位	クラシック音楽鑑賞 31.7%	演芸・演劇・舞踊鑑賞 28.9%	美術鑑賞 17.7%	演芸・演劇・舞踊鑑賞 24.4%
	3位	演芸・演劇・舞踊鑑賞 31.1%	楽器の演奏 24.7%	写真撮影 16.0%	美術鑑賞 24.2%

音楽関連の趣味 美術関連の趣味

※一般層の趣味それぞれにおいて上記4つのコンテンツを選択した割合を算出し、上位3位のものを表示。

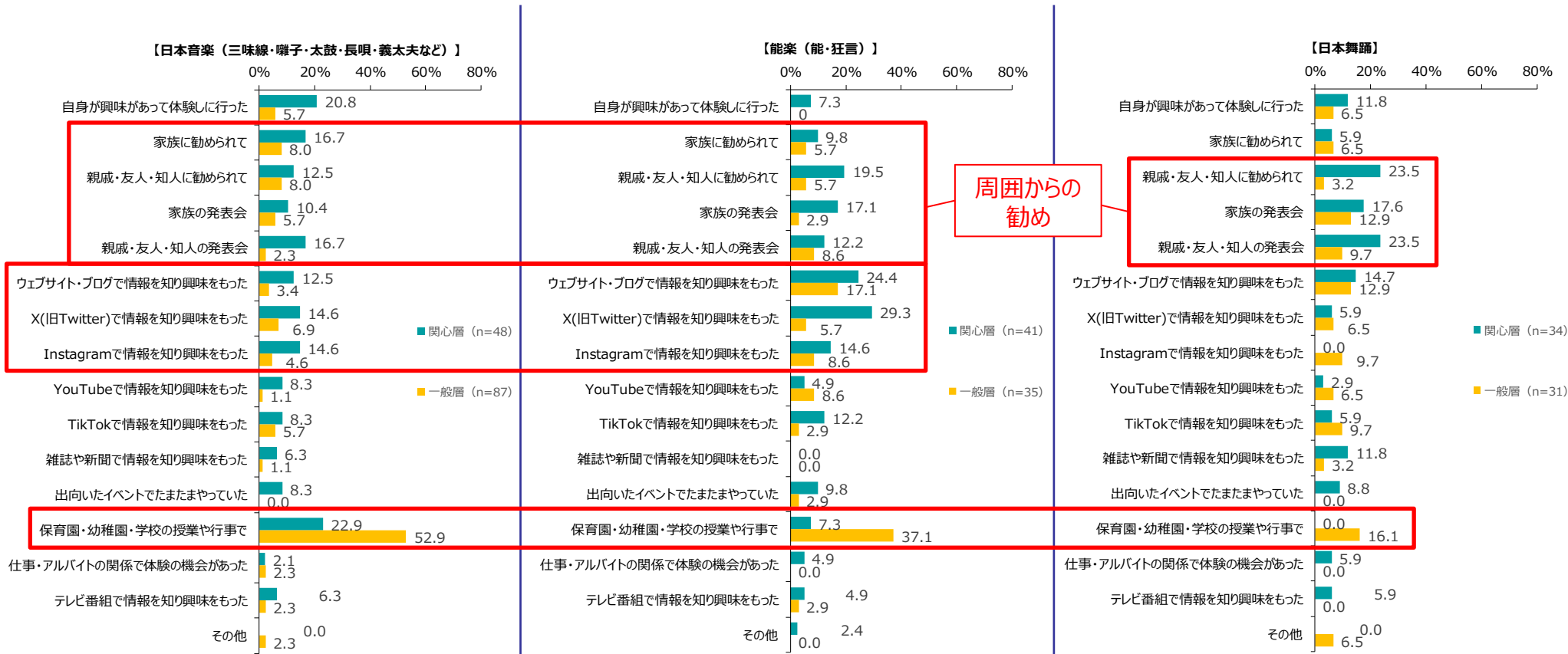
② 伝統芸能への興味関心の向上

興味関心度別の体験のきっかけ

- 関心層では、どの分野においても**周囲からの勧めが体験のきっかけになっている割合が概ね10%以上を占めており、一般層よりも高くなっている。**
- 日本舞踊については、関心層は周囲からの勧めが体験のきっかけとなっている一方で、日本音楽（三味線・囃子・太鼓・長唄・義太夫など）や能楽（能・狂言）においてはソーシャルメディアのうち、特にSNSがきっかけとなっている割合も高い。また、SNSの中では「X(旧Twitter)」、「Instagram」から情報を得ている割合が高くなっている。
- 一般層では、どの分野においても「保育園・幼稚園・学校の授業や行事で」が最も高く、**教育現場が関心が高くない人にとっても体験の機会となっていること**が窺える。

Q5.あなたが以下の伝統芸能を初めて体験したきっかけは何ですか。

※ 関心層・一般層ともにサンプルサイズが30より大きい分野のみ掲載。



伝統芸能への興味関心の向上に向けたご提案

若年層に対するワークショップ等の体験機会の創出

✓ 教育現場でのワークショップの開催

一般層では、保育園・幼稚園・学校の授業や行事が体験のきっかけとなっている割合が高かった。伝統芸能との関わりが無く、伝統芸能に関する情報を自主的に入手することがない人にとっては、教育現場での体験機会が接点となるケースが多いと考えられる。教育現場において授業の一環としてやイベント等で体験機会を創出することにより、属性や関心度に関わらず、幅広い層に対して伝統芸能に触れるきっかけを与えることができる。

✓ 親子で参加できるワークショップの開催

関心層においては、周囲からの勧めが体験のきっかけとなっている割合が高かった。ソーシャルメディアを通しての情報入手は関心度が低い人にとって接点を持ちづらい一方で、家族など周囲からの勧めは関心度が低い人に対するアプローチとしても比較的難易度が低いと考えられる。親子で参加することができるワークショップを開催することにより、普段伝統芸能に関わることがない子どもでも保護者からの勧めをきっかけとして体験機会を得ることができる。また、ワークショップを通して子どもだけでなく保護者の抱える疑問や不安を解消することにより、子どもが伝統芸能を行うことについての理解を得ることができると考える。

【実施の対象年齢・内容について】

✓ 対象年齢について

関心層においては、12歳以下の幼少期から体験機会があった割合が一般層と比較して高かった。12歳以下や9歳以下を対象とした体験機会を創出することで幼少期から接点をもつ人が増え、関心層の拡大に繋げることができると考える。

✓ 体験コンテンツの内容について

本調査の対象者（15～24歳）においては、体験したいコンテンツとして「歌舞伎の音楽（三味線）」や「歌舞伎の音楽（打楽器）」の回答が多くみられた。音楽関連のコンテンツは伝統芸能自体に関心がない人でも音楽を趣味としている人を中心に興味をもちやすい内容であることが窺える。また、「歌舞伎の衣装・化粧」「日本舞踊」も比較的体験したいと回答する割合が高かった。美術や舞台芸術、写真撮影の趣味をもつ人が選択する割合が高かったことから、これらと絡めた体験コンテンツを創出することにより、趣味の延長として興味を促すことができると考える。

セグメント別・性別 利用しているSNS

- 「職業検討意向あり」の層については、**男性・女性いずれも「LINE」「X（旧Twitter）」「YouTube」の利用の割合が高くなっている。「Instagram」「TikTok」については、男性は4割程度であるのに対し、女性は6割以上となっている。**一方で、男性については、「Facebook」「LINE LIVE」「WhatsApp」「Skype」等、**主要なSNS以外にも幅広く利用している傾向があり、「具体的に検討している」層についても同様の傾向がみられる。**
- 「関心層・職業検討意向なし」の層と「一般層・職業検討意向なし」の層を比較すると、主に「LINE」「X（旧Twitter）」「YouTube」「Instagram」「TikTok」の利用がみられ、それ以外の媒体については利用の割合が極めて低くなっている。

SC8.あなたが利用しているSNSは何ですか。

職業検討意向あり
(n=186)

「具体的に検討している」層

関心層
職業検討意向なし
(n=111)

一般層
職業検討意向なし
(n=903)

